



No.44 2025.6.24 発行
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<https://suirantaiikukai.com/>



47年ぶりの快挙!! 2025 春高バレー出場

砂川先生、OBの方々の後押しで
夢の舞台に立てたことに感謝

岩井 将人(124期)

私たちは第77回春の高校バレーに出場しました。これは高崎高校としては47年ぶりの快挙であったということで、OBの方々をはじめ多くの人から祝福の声をいただきました。そういった祝福や声援に、全国での勝利という結果で恩返しをすることができなかったことに悔いが残りますが、私はインターハイとこの春高バレーの2度の全国大会出場を通して多くのことを学ぶことができました。

話は戻り、私が1、2年生の頃になります。当時の高崎高校バレー部は大会では、ほとんどベスト4でそれ以上の成績を残せたのは1年生の頃の新人戦の優勝のみでした。そんな中、私はこれ以上の成績は無理なのではないかと正直思っていました。そんな私の意識が変わったのは、OBをはじめ周りの方々の支えに気づくことができたからです。

私はずっと戦っているのは自分たち選手と、顧問の先生だと思っていて、結果も自分たちに返ってくるだけだと思っていました。しかし、新年の初打ちに参加してくれるOBや大会に応援に来てくれる方々の熱い言葉は、当時の私の闘志よりも熱いものであったように感じました。それに気づいた私は、このままではだめだと考え、はっきりとした目標を

定め、それに向かうための練習に励みました。

その結果、自分達の代になって新人戦、高校総体と続けて優勝し、明らかに今までとは違う自信をつけ、成長を感じました。しかし、迎えたインターハイ予選では、今まで見えてこなかった全国出場が目の前に見えてきたとき、感じたことのないプレッシャーを感じました。それを乗り越え、何とかインターハイ出場を決めると、想像もつかなかったほど多くのOBの方々から祝福や賛助金への協力をいただきました。恥ずかしながら、そこで初めて本当の意味で自分たちだけでなく、たくさんの人の思いを背負って戦っていることを実感しました。

予選1回戦、敗者復活戦を共にフルセットの末、落としてしまいました。その時私の闘志にさらに火をつけたのは全国の壁を越えたいという思いでした。インターハイでの敗戦後、私以外の3年生は次々に引退することを決意し、私もすごく悩みました。

そんなときに春高を目指すことを後押ししてくれたのは、砂川先生やOBの方々でした。受験との両立は大変な部分もありましたが、インターハイの借りを返すためと思い必死に食らいつきました。そんな努力が実り、春高への出場を決めました。

しかしこのときの優勝は、インターハイ予選のときとは違う思いがあり、出場

を通過点だと考えていたので、うれしいというよりほっとしていました。

出場した春高バレーは、先生までもが驚くほどたくさんのOB、生徒、保護者に応援していただき本当に夢のような舞台でした。2度の全国大会を通して自分の競技力を高められたとともに、自分がどれだけ恵まれた環境にいたのかということを感じることができました。そして、そういった環境に感謝し、自分らしい形で恩返しをするということの大切さを学びました。

私は、教員として高崎高校に帰ってきたいと考えています。高校教員という仕事の中で、私の培った経験や考えを現役高校生に伝えることにより、少しでも支えていただいた皆様への恩返しになればと思います。

最後になりますが、改めまして高崎高



校OBの皆さんの日頃の支えに、心より感謝申し上げますとともに、今後も高崎高校の発展のためにご協力をよろしくお願いいたします。

47年ぶりの「春の高校バレー」 出場を振り返って

砂川 智哉(顧問・111期)

令和6年度全国高等学校選手権大会群馬県予選において優勝し、高校にとって47年ぶりとなる「春の高校バレー」に出場することができました。私は、高崎高校111期のOBでもあります。母校である高崎高校で指導をすること、そして、高校バレーにおいて最大級の大会である「春の高校バレー」に出場することは、私の指導者人生としての最大の夢でもありました。高崎高校の歴史の1ページに刻めたことを誇りに思うことと同時に、先生方やOBの方々、応援してくださったすべてのの方々への感謝の気持ちで一杯です。

「春の高校バレー」は、2010年から3月開催から1月開催に変更され、1、2年生の全国大会から3年生の最後の大会という位置づけとなりました。故に、ほぼすべての生徒が共通試験を受験する本校にとって非常に困難な挑戦となります。インターハイで引退する選手が大半で、そこから数名のみが勉強と両立しながら11月の予選へ出場します。もちろん、ライバル校はすべての3年生が残



り、集大成のチームとしてこの大会に出場してきます。この結果、インターハイには通算6回出場できているのに対し、春の高校バレーには、47年間手が届かない大会として高崎高校の前に立ちはだかつていました。

この年の3年生は10人中9人がインターハイで引退をしました。これまでの新人戦、県高校総体、インターハイ予選の3つの県大会を制覇できたのも3年生10人の存在が不可欠でした。春高バレーへの挑戦は、唯一残ったエースの岩井将人に託されました。岩井は、群馬県屈指のアタッカーで、群馬選抜のエ

ースも務めていました。最高到達点340cm(春高バレー出場選手の中でも10本の指に入る高さ)という驚異的なジャンプ力を武器に、どこから打っても得点がとれる選手です。プレー面だけではなく、人間性も非常に優れていました。コート内で冷静に状況を判断し、試合をコントロールすることはもちろん、時には私よりも情熱的にチームメイトに語りかける姿は、まさにもう一人の指導者でした。インターハイ後からのチームの成長は目まぐるしく、他県の強豪校とも互角に渡り合えるチームへと進化していきました。春高予選が最も危なげなく優勝できた大会になったのは、次は全国で勝ちたいという岩井の思いが後輩たちへと伝わり、「かたち」となったのだと思います。

現在、高崎高校バレー部は、全国常連校、そして、全国の強豪校と張り合えるチームを目指しています。もちろん、受験勉強も妥協をさせたくはありません。「二兎追うものは一兎も得ず」ということわざもありますが、二兎とも得ることが至高の姿だと思っています。この果てなき挑戦こそが高校生活を充実させ、人として大きく成長できると確信しています。支えてくださるたくさんの方々への感謝の気持ちを胸に、今後も高みを目指していきたいと思っています。



製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明

上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀾 憲昭 同窓会会長
バレーボール部(81期)
高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871(八幡第二工業団地)
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会 会長
バレーボール部(78期)
税理士 白井 浩一 水泳部(89期)
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302
http://www.kaikai-home.com/cpta_hiro-hp/

有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高関町316-6
☎(027)323-5988 FAX(027)323-5858

シリーズ マイウェイ

ワガミチワガリユウギ

FILE 05 中島 一輝 バスケットボール部 (111期)

この度は、翠巒体育会報誌に私の経験を寄稿させていただけること、心より感謝申し上げます。高校時代に学んだことや、共に過ごした仲間たちとの思い出が、今の私を形成する大きな要素となっています。こうして会報誌を通じて、皆さまと再びつながることができるのは、非常に嬉しく思います。少しでも私の歩んできた道が、皆さまにとっても興味深いものとなれば幸いです。

私は現在、「邦楽囃子方」として、主に歌舞伎や日本舞踊の伴奏音楽である長唄の演奏に携わっています。中でも小鼓や太鼓などの打楽器を担当し、舞台の後方で演者の動きや感情に呼応するように音を添えるのが私の役割です。表には見えにくい存在ですが、舞台の空気を支え、物語の世界をより深く観客に届ける大切な役割を担っていると感じています。

この世界に足を踏み入れたのは、大学卒業後のことでした。それまでは邦楽とはまったく無縁の生活を送っており、幼い頃からバスケットボールに打ち込み、高校・大学とバスケットボール部に所属していました。将来について深く考えることもなく、ただ目の前の練習や試合に全力を注いでいました。

転機となったのは、就職活動の時期です。自分の人生と向き合う中で、「何かを表現したい」という強い気持ちが自分の中にあることに気づきました。その思いを実現する手段として音楽を選び、なかでも「歌」を通じて自分を表現したいと考えようになりました。その思いに蓋をすることができず、就職をせずに歌手を目指し、当時アルバイトをしていた喫茶店に住み込みで働きながら、夢を追う日々を過ごしていました。

そんなある日、知人から「邦楽に興味はないか？」と声をかけられ、軽い気持ちで長唄の演奏会に足を運びました。静寂と緊張の中に宿る凛とした美しさや、現在の師匠である藤舎呂英師の演奏に心を打たれ、「自分もこのような演奏家になりたい」と強く感じ、囃子方を目指すことを決心しました。それからすぐに師匠の稽古場に通い始め、本格的な修行を始めました。

その後、東京藝術大学に進学し、邦楽の専門教育を受けながら経験を積み、卒業後には「藤舎英心」の名をいただき、演奏家としての活動を開始しました。現在では、歌舞伎公演をはじめとする伝統芸能の舞台に加え、各種イベントやコンサートにも出演し、活動の場を広げています。2025年には大阪・関西万博の開会式において演奏を務めさせていただき、日本の伝統を世界に発信するという貴重な機会を得ました。

現在では演奏活動も安定し、充実した日々を送っていますが、ここに至るまでには苦しい時期もありました。2020年以降のコロナ禍では多くの公演が中止・延期となり、演奏家として活動の場を失い、大きな試練を経験しました。これを機に、約8年ぶりに地元・群馬県へ戻ることとなりました。以前から「いつか地元で恩返しをしたい」という思いがあり、この帰郷を通じて地域の方々と深く関わる機会に恵ま

れ、囃子のワークショップ開催や演奏会の企画など、地元文化との新たな接点を得ることができました。群馬に戻ったことで、自分の芸が地域に貢献できる可能性に気づくとともに、地元の温かさや魅力を改めて実感する機会にもなりました。

こうした経験を通じて強く感じたのは、たとえどんなに大きな困難に直面したとしても、目の前にあるやるべきことに誠実に取り組み、自分の頭でじっくりと考え、行動に移していくことで、必ず道は切り拓けるということです。決してすぐに答えが出るとは限りませんし、思い通りにいかないことも多々あります。しかし、そこで立ち止まらず、一歩でも半歩でも前に進もうとする姿勢こそが、未来をつくる原動力になるのだと思います。だからこそ、これからどのような壁にぶつかるうとも、決して諦めず、挑戦する心を持ち続けたいと強く思っています。

そして私は、これまで出会ってきた多くの人々や経験を糧に、自分自身の可能性を信じ、より高い芸の境地を目指して歩みを進めていきたいと考えています。伝統を受け継ぎながらも、それを次の世代へとつなぎ、さらに新たな表現のかたちを模索することも、これからの自分の使命だと感じています。演奏家としての道に終わりはありません。常に学び、挑み続ける姿勢を忘れず、伝統芸能の未来に少しでも貢献できるよう、これからも全力で励んでいく所存です。



サカサケ・ワイン
サカサケ酒造

有限会社 仲沢酒造
仲澤 賢一 (バスケットボール部 第86期)

高崎市八千代町1-12-4 (和国橋通り)
電話 027-323-1621
FAX 027-326-2141

(社)日本ソムリエ協会認定 シニアソムリエ
(社)日本ソムリエ協会 群馬支部支部長
ホームページ
http://www.nakasake.com

株式会社 塚本工務店
塚本 浩史
(バスケットボール部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

株式会社 大利根漬
富沢 慎一・誠佑
(バスケットボール部 99期)

〒370-3334 群馬県高崎市本郷町150-1
TEL:027-343-6007 FAX:027-344-1588

青春の絆

応援部

KIZUNA 小林 重治(86期)

声を継ぐ者たちへ

応援とは、誰かのために立つことだった。
羽織袴に身を包み、列を正し、息を揃える。

掛け声よりも、構えた瞬間の沈黙のほうが重かった。

そこには、自分を差し出すような覚悟があった。

高崎高校応援部には、目に見えない“型”があった。

声を揃えるというより、魂を揃える。

動きの一つひとつに意味があり、言葉の一節ごとに重みがあった。

それらはすべて、先輩たちから受け継いだものだった。

風の強い日も、冷たい雨の日も、壇上に立てば不思議と揺らがなかった。

背後にいる仲間の存在と、背中に宿る伝統の重み。

それが、私たちを支えてくれた。

「翠巒」が描く光景には、かつての私たちの姿がある。

榛名の嶺、碓氷の玉、北斗の星、そし

て鍛えた腕。

自然と向き合いながら心を鍛え、声を放った日々が、そこにある。

あの歌にあるように、胸の奥深くには、静かで果てしない力が息づいていた。

海の底のように澄んだ場所から、熱が幾重にも湧き上がってくる。

その熱は、誰かを励まそうとする想いそのものであり、ともに並んだ仲間との絆でもあった。

拳を振り上げた瞬間の気持ちも、張り詰めた空気のなかで交わした視線も、声を重ねたあの一体感も、今も変わらず胸にある。

声は風に消えても、その声を生んだ心と形は、これからも静かに受け継がれていく。

それが応援であり、応援部の絆なのだと思う。



KIZUNA 根岸 彰(103期)

『学校行事の回し役』としての応援部

押忍。諸先輩方いらっしやる中で大変僣越ではございますが、中学時代に通っていた塾の経営者で、応援部の大先輩である櫻井先輩からのご指名ですので、筆をとらせていただきます。

103期、高崎高校応援部第52代統制長、根岸彰と申します。

地域で会社経営をしている中、OB会等で応援部歴代の先輩方や後輩と接させていただきますと、世代によってカラーの違いを鮮明に感じます。先輩方のバンカラで豪快なお話を伺うこともあれば、後輩たちは型を大きく変化させており、とらわれない発想を感じます。

私たちの代を振り返りますと、あまりバンカラではない、「応援部らしくない応援部」である世代だったと思います。私自身、実行委員会・放送部などと兼部しておりましたし、生徒会長は応援部総務部長であった久保田啓樹が、定期戦実行委員長は応援部部長であった永田和也が務めておりました。

我々の代の応援部は6人おり、全員が生徒会や実行委員会と兼部し、各班のリーダーを務めておりました。翠巒祭・定期戦当日は、昼食をとる暇がないくらい忙しく過ごしていたことが印象的です。応援することはもちろんですが、「学校行事において欠かすことのできない回し役」として当時の高高生、先生方からご信頼をいただいていたのではないかと勝手ながら思います。

応援の本質、それは「高高をリードし、高高生のモチベーションを上げていく」ことだと思います。時代によって、活動の在り方や表現の仕方は異なりますが、応援部は常にそうしたことを行ってきたのではないのでしょうか。

変わっていく時代に適合する必要はあ



ライズ総合保険
AD Flagship partner 高崎
有限会社富田総合保険プランナーズ

代表取締役 富田 和弘 (応援部OB 85期)
武山 雄海 (バレーOB 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364

GSD Global Solution Developer ホームページ、WEB システムの作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92 期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503 号

TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667

URL: http://www.g-s-d.net mail: h_sato@g-s-d.net

でてこい。未来のリーダーたち。 **四谷大塚 NET** **CEBU 流学**

適塾

www.tekijuku.info 塾長 櫻井 健一 (応援部 87 期)



ると思いますが、その本質が変わらずにあることが肝要かと思ひますし、逆に言ひますと、活動の在り方や表現の仕方がどれだけ変わっても、本質が変わらなければ何の問題もないと思ひます。

これから、高崎高校応援部が、高崎をリードし、高崎生のモチベーションを上げ続けていくことを一OBとして期待しています。



KIZUNA 高橋 良太(118期)
応援部で得た“なんとかする力”
高校時代のある日、応援部に所属し

ていた友人から、定期戦に向けた臨時部員の勧誘を受けた。日々の生活にどこか退屈さを感じていた当時の自分にとって、その誘いは少し面白そうに映った。

軽い気持ちで参加した臨時活動が、結果として正式入部という流れになり、高校生活の中で大きな意味を持つ経験へと変わっていった。

応援部の活動は、見た目以上に厳しく、地味な反復練習の連続だった。

特に印象に残っているのは、翠巒祭前の合宿だ。演目を一通り通して行う練習があり、誰か一人でも間違えたら、最初からやり直し。何度も繰り返すうちに、汗と声と疲労で、何が正解か分からなくなるほどだったが、それでも全員で乗り越

えたあの時間には、今でも不思議な連帯感を覚えている。

そんな応援部で自分が身につけたものを一つ挙げるなら、「なんとかする力」だ。

演技中に間違えたとしても、動揺を見せず、まるで予定通りだったかのように振る舞う。観客にそれを感じさせないよう“平常”を装うこの技術は、日常の様々な場面でも役に立っている気がする。

活動そのものも記憶に残っているが、何気ない日常の一コマも鮮明だ。

定期戦の前夜祭の後、同期と歩いて銭湯に行った夜。暑さと緊張と心地よい疲れの中、たわいもない話を交わしながら歩いたあの道は、今でもふと思い出すことがある。

正直に言えば、応援部での経験が今の自分にどうつながっているのか、明確な答えは出ていない。けれど、あの頃の自分が「なんとなく面白そう」と思って選んだ道が、確かに自分にとっての青春の一部だったという自覚はある。

今、何をしたいか分からない、なんとなく日々を過ごしている人がいるとしたら、応援部も悪くない選択肢だと思う。

少なくとも、ただの「退屈な日々」は少し変わるかもしれない。

2024事業報告

令和6年4月1日▶令和7年3月31日

- | | |
|--|--|
| <p>4 9日●第1回役員会議
(翠巒会館)
11日●第1回編集会議
(翠巒会館)</p> <p>5 30日●第2回役員会議
(グランビュー高崎)</p> <p>6 4日●第2回編集会議
(グランビュー高崎)
4日●監査役会
(グランビュー高崎)
27日●第50回定期総会・
50周年記念祝賀会
(グランビュー高崎)
27日●翠巒体育第43号発行</p> | <p>9 1日●第34回ゴルフ大会中止延期
(サンコーカントリークラブ)</p> <p>10 17日●若手を増やす会(W.F.K)
(マリエールWILL)</p> <p>11 6日●高崎高校マラソン大会
優秀者表彰
(高崎高校)
24日●第34回ゴルフ大会
(サンコーカントリークラブ)</p> <p>3 3日●高崎高校卒業式
(高崎高校)</p> |
|--|--|

第50回定期総会・50周年祝賀会

サッカー部／根岸 強(87期)

令和6年6月27日、翠巒体育第50回定期総会及び50周年祝賀会が開催され、出席者は総勢166名となりました。サッカー部は近年参加者が2～3名でありましたが、50周年ということもあり8名の出席となりました。

コロナ禍においては、総会・懇親会中止、総会のみという年もあり、第50回定期総会及び50周年祝賀会にこれだけの人数が集まったことは喜ばしいことでありました。準備していただいた大田部会長以下各部の代表理事の方に

株式会社 シビル設計

CIVIL Design office Co., Ltd

代表取締役 根岸博昭(卓球部67期)

高崎市石原町1753-33 TEL027-324-1456



株式会社 システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ4-B
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

文武両道・3F精神 全開! がんばれ、卓球部

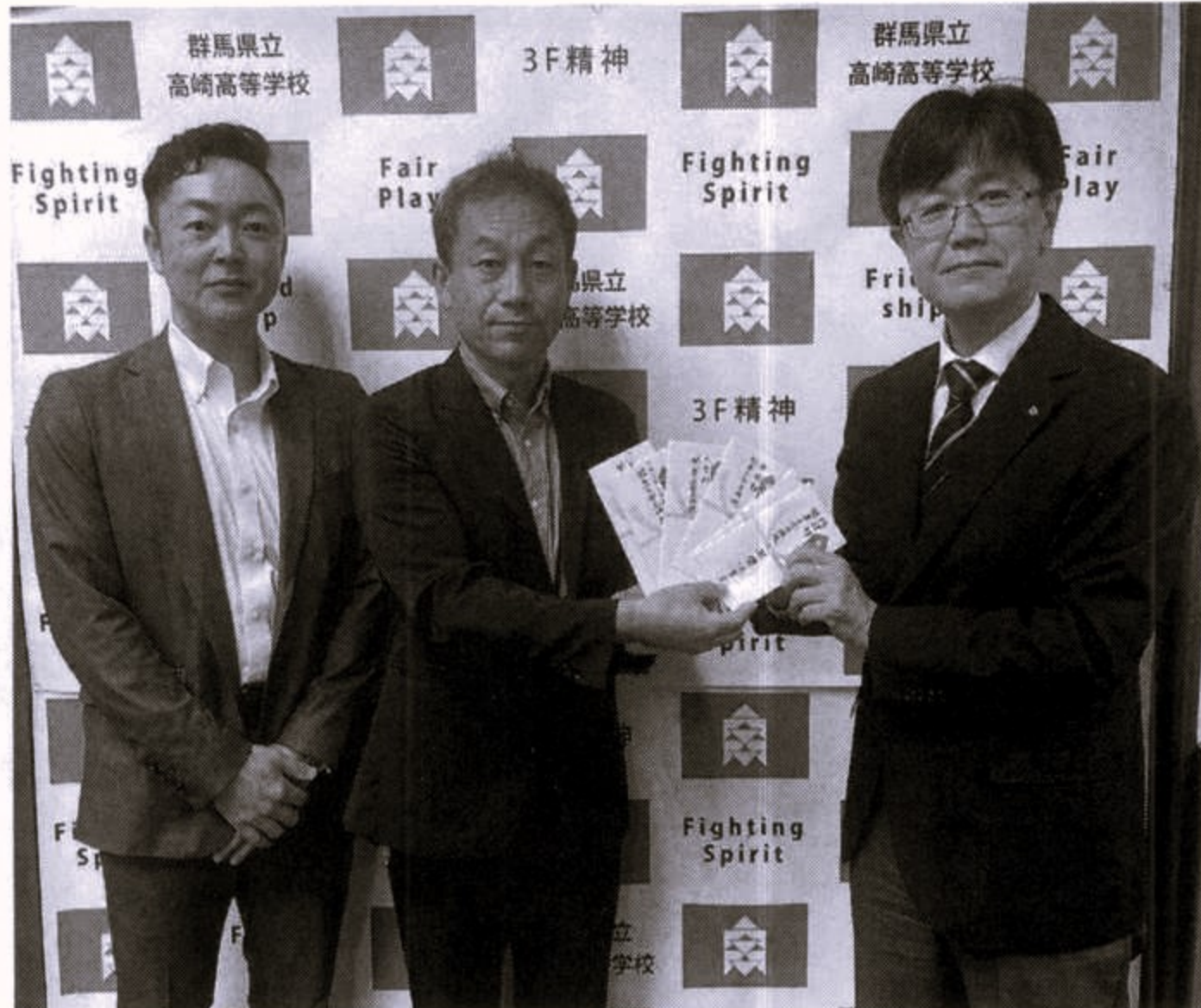
卓球部OB会一同



●第一回役員会議



●第一回編集会議



●関東大会出場祝い金贈呈



●第50回 定期総会・50周年祝賀会



●第50回 定期総会・50周年祝賀会

感謝もうしあげます。

定期総会にて、事業報告、会計報告及び事業計画、予算案が審議され満場一致で可決されました。

50周年祝賀会においては、翠巒体育会長、高崎市長、安中市長、校長、同窓会長の挨拶に続いて、祝賀会のメインイベントである翠巒体育の発足から現在までの歴史を短くまとめた動画の上映が行われました。歴代の翠巒体育会長へのインタビューを行い、翠巒体育の発足の経緯等の話や今後の翠巒体育への助言があり、翠巒体育60周年に向けてより発展させるためにはどうしたらよいか考えさせられるよい機会となりました。

また、高崎高校は50年の期間において全国大会に出場したこと数十回あり、全国の晴れ舞台で活躍した当時の様子が流れた場面は感慨深いもので

ありました。50周年祝賀会の令和6年6月27日時点において、バレー部が10年ぶりの九州インターハイ出場が決定しており、50周年祝賀会に花を添えるとともに新たな歴史を刻む形となりました。祝賀会中に行われた恒例の各部の報告においても、大いに盛り上がり有意義な時間となりました。

現在は、各部とも私立高校の台頭により厳しい状況となっておりますが、高崎高校の全国での晴れ舞台での活躍を願っております。

若手を増やす会(W.F.K.)

スキー・スケート部／寺澤 佑介(95期)

2024年10月17日(木曜日)、スーパームーン、乃ち満月がこの地球にもっとも近付いた夜——翠巒体育会主催の「WFK若手を増やす会」がマリエー

ルWILL高崎にて開催されました。

スキー・スケート部OB会からの参加者は私一人。

初めてお会いする方も多く、緊張しつつ会場に入ったのですが、諸先輩方が気さくに話しかけて下さり、まだ高高から羽ばたいたばかりのかなり若い世代と語らうことも出来、料理も非常に美味しく、とても心に残る和やかで楽しい会食でした。

ざっと当日の流れを説明しますと、まずビデオで翠巒体育会のこれまでの歩みが紹介されました。

次に、大田部会長の挨拶。その後、しばしの歓談の後、緑のスーツに全身を包んだ男性がギターを持って壇上に現れ、会場全体を大きなどよめきが走りました。

緑虫の名で前橋で演奏活動をされている陸上部OB波多野重雄さんで

カーエレクトロニクス グッズ&サービス

群馬電装株式会社

本部・サービス部：高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>

代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

群馬トヨペット株式会社

前橋市石倉町 2-6-5

TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251
代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

金井勉社会保険労務士オフィス

社会保険労務士 **金井 勉**

(剣道部 66期)

〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1

TEL.044-948-6591

E-mail kanai7@world.ocn.ne.jp



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●ゴルフ大会団体優勝 スキー・スケート部OB会



●若手を増やす会(W.F.K.)



●第50回 定期総会・50周年祝賀会



●第34回 ゴルフ大会

す。波多野さんはチェッカーズを初め懐かしの名曲やオリジナルの曲を披露して下さり、会場を大いに盛り上げて下さいました。

ライブ後は各部OB会から活動報告があり、その後、また歓談をはさんで、盛況の後、散会しました。

世代を超え、多彩な人士と出会えるWFK。非常に有意義で貴重な会だと思います。皆様、どうぞ奮って足をお運び下さい。

来の戦力を組めなかったようで、棚ぼた的な面もありますが、嬉しい快挙です。スキー部はもともと小規模な部でしたが、このコンペ出場を目的に10数年前にOB会を立ち上げ、仲間を増やしながら地道に活動してきました。その成果が実を結びました。

なお、去年は私の息子が高々3年生として在籍し、私自身もPTA会長を務めた年でもあり、母校に深く関わる中での優勝は格別の喜びです。来年も胸を張って戦えるよう精進してまいります。

高々同窓会ゴルフ大会には参加したことがありましたが、今大会は初参加であり、緊張もありましたが、いっしょにラウンドした野球部の先輩方の助けもあり、また、サンコーカントリー西コースの距離にも助けられ良いスコアで回ることができました。還暦を過ぎると、できるスポーツも限られてきますので、ゴルフはなるべく長く続けられればと思っています。

なお、今大会は参加人数も少なく団体戦は3人のスコアで競うこととなりました。そんな中スキー部は、最多の6人が参加し、団体戦でも優勝することができました。次回は大勢の方が参加する中、サッカー部や野球部等の強豪を倒して、団体優勝を勝ち取りたいと思っています。

第34回ゴルフ大会 団体優勝

スキー・スケート部／佐藤 雄一(86期)

令和6年11月24日、延期を経て開催された第34回翠巒体育会ゴルフコンペにて、我々スキー部が団体戦で初優勝を果たしました。強豪のサッカー部や野球部などは日程変更の影響で本

第34回ゴルフ大会 個人優勝

スキー・スケート部／岸 亮(81期)

第34回翠巒体育会ゴルフ大会に運良く優勝できました。今大会は9月開催の予定が台風で延期となり、11月に開催されたものでした。5月に行われる



群馬セラミックス株式会社

取締役会長 小貫 諭 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市白石1444
TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1
TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail: onuki@guncera.co.jp
https://www.guncera.co.jp/



腎臓内科・一般内科

島田クリニック

院長 島田 明仁 (水泳部・69期)

〒375-0053 群馬県藤岡市中大塚172-7
TEL.0274-23-0005 FAX.0274-23-0007



株式会社 山岸製作所

薄肉切削(旋盤)加工のエキスパート

専務取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)

浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 TEL.027-360-4100
八幡工場 高崎市剣崎町21-1 TEL.027-387-0505

第34回 ゴルフ大会結果

●団体戦

順位	運動部名	GROSS	HDCP	NET
1	スキー・スケート	241	22.8	218.2
2	サッカー	264	38.4	225.6
2	ラグビー	264	37.2	226.8
4	ソフトテニス	270	38.4	231.6
5	剣道	285	57.6	227.4

●ネット個人戦

順位	氏名／運動部名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
1	岸 亮(スキ)	37	46	83	12.0	71.0
2	静 毅人(水)	53	50	103	31.2	71.8
3	沼野藤雅(スキ)	40	38	78	6.0	72.0
4	関 守行(剣)	48	49	97	24.0	73.0
5	渡邊俊裕(ラッ)	39	37	76	2.4	73.6

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願いします。
群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238
スライントイックカイ カイケイ タケヤマ ユウミ
翠巒体育会 会計 武山 雄海

令和6年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書

(自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)

科 目	金 額	摘 要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	469,000	15部
親睦会収入	1,320,000	令和6年6月27日 ホテルグランビュール高崎
ゴルフ大会収入	129,000	令和6年11月24日 サンコーカントリークラブ
翠巒体育忘年会収入		
雑収入	561,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金等
受取利息 (当期収入合計)	209 (3,154,209)	群馬銀行
特別会計取崩金	300,000	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	405,255	
収入の部合計	3,859,464	

財産目録 (令和7年3月31日現在)

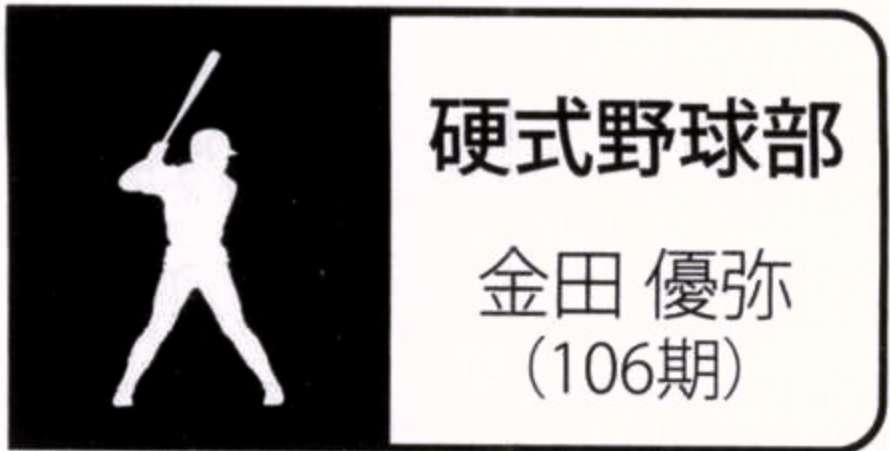
科 目	金 額	摘 要
資産の部		
現金	216,372	現金手許有高
預金	403,506	群馬銀行高崎栄町 (普)#0783238
正味財産	619,878	一般会計分

科 目	金 額	摘 要
支出の部		
総会・親睦会費	1,376,239	令和6年6月27日 ホテルグランビュール高崎
現役等補助金	375,800	関東大会、インターハイ等 出場の運動部、 マラソン大会等
会報発行費	621,830	「翠巒体育」第43号
ゴルフコンペ費	137,784	令和6年11月24日 サンコーカントリークラブ
翠巒体育忘年会費	0	
W.F.K(若手を増やす会)	270,270	令和6年10月17日 マリエール
慶弔見舞金	0	
事務用品・通信費	102,433	ホームページ管理費等
会議運営費	354,680	編集会議、役員会議等
銀行手数料	550	群馬銀行
(当期支出合計)	(3,239,586)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計 (収支差額)	3,239,586 (△85,377)	(当期収入合計) －(当期支出合計)
次期繰越収支差額	619,878	収入の部合計－支出の部合計

特別会計 (令和7年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
普通預金	501,780	群馬銀行高崎西 (普)#0593363
特別会計財産	501,780	特別会計分

OB 各運動部OB会の近況報告



2024年11月9日、106期堀口泰幹君を発起人として、恒例となった105期～107期OB交流戦が開催されました。昨年に引き続き、今年も無事に開催できたことを大変喜ばしく思います。本年からは新たな試みとして105期の先輩方にもご案内を差し上げ、小林正和先輩、清水彰人先輩、芹澤正幸先輩、安田亮介先輩にご参加いただきました。

開会にあたっては、107期茂木厚太郎君より「昨年も開催し、今年も開催できた。この調子で来年も開催したいと思います。」との挨拶があり、参加者一同の士気も一層高まりました。

試合はAチームとBチームに分かれて行われ、結果はAチームが4対0で勝利を収めました。Aチームの投手陣は、107期吉田稔彦君が右投げで3イニング、左投げで1イニングという異例の両投げを披露。続いて107期熊谷英紀君が1イニング、107期平井一馬君が2イニングをそれぞれ無失点で抑える好投を見せました。一方、Bチームは107期根岸徹君が4イニング、茂木厚太郎君が3イニングを投げ、粘り強いピッチングで

応戦しました。

打撃面では、Aチームの106期新野敬太君が3安打を記録するなど大活躍。堀口泰幹君もセンターオーバーのツーベースを放つなど、東京六大学野球で鍛えられた実力を存分に発揮しました。試合は全7イニングで行われ、終始和やかな雰囲気の中、世代を超えた交流の場となりました。

試合前には、現役生に技術指導を行っている吉田稔彦君のとりなしにより現役野球部3年生2名との進路相談会も実施されました。OBからの経験談や進路に関する具体的なアドバイスが提供され、現役部員にとっても貴重な時間となったことと思います。

また、今回の行事を通じて、OB会の活動や「翠巒クラブ」の存在についても広く周知を図ることができました。さらに、2025年5月より開幕する「マスターズ甲子園」予選会への参加を呼びかけ、悲願の初優勝に向けてOB一同の結束を強めました。

来年度以降のさらなる参加者拡大を目指し、2025年は今回よりも幅広く案内を送ることが決定されました。閉会にあたっては、来年以降の継続開催を望む声も多く寄せられ、今後の活動に対する期待が一段と高まっています。

最後に、今回の交流戦開催に際し、昨年に続き104期長壁幹先輩より多大なるご支援を賜りましたこと、この場をお借り

目指せ! 全国制覇

高崎高校

ソフトテニス部

高中庭球部応援歌より

あゝ東西の両洋に テニスの覇者をうたわれし

好漢清水を出したる 我等は高中健児なり

ソフトテニス部 OB会

1級建築士事務所 群馬県知事第2146号

有限会社 田口総合設計

創業57年 群馬県知事(16)98号

有限会社 田口不動産

1級建築士 田口恵一

(74期 ソフトテニス部 OB)

〒370-0846

高崎市下和田町一丁目1番1号 TEL 027-322-2492

木村動物病院

高崎市吉井町池1369-1

TEL 027-387-2520

城南大橋どうぶつ病院

高崎市寺尾町2623-6

TEL 027-384-3000

72期・100期 ソフトテニス部 OB

して厚く御礼申し上げます。



スキー・スケート部

寺澤 佑介
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。

スキー・スケート部OB会の活動としましては、まず、昨年11月12日(土曜日)、高崎市内、山田町の「呑み食い さとお」において、OB総会及び懇親会を行いました。

「さとお」は、88期、佐藤光昭さんが昨年九月にオープンさせたお店です。

OB十五名が「さとお」に集い、昔話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。

あっという間に時間がすぎ、とても楽しいひと時でした。

男の隠れ家といった趣のお店で料理もとても美味しかったです。

佐藤先輩、誠にありがとうございました！

高崎にお住いの方、現在、遠方にお住まいで高崎に戻るご予定のある方は是非是非、「さとお」に足をお運びください。

翌日は有志でゴルフを行い、翠巒体育会のゴルフ大会に備えました。

その甲斐あってか、11月24日におこなわれた翠巒体育会のゴルフ大会では、スキー・スケート部が団体優勝、スキー・スケート部OBで81期の岸亮さんが個人優勝、そして同じくスキー・スケート部OBの89期、沼野藤雅さんがベストグロ賞、三冠に輝く快挙を成し遂げました。

ランドを回られたOB諸兄の方々、本当におめでとうございませう。

その他、私たちOB会の昨年の活動としましては現役生(スノーボード)の支援の方も行いました。

ただ、本年の現役生の状況については、今の所、0人、活動している部員がないというとても心配な話を聞いております。

現役生がないということは私達OBとしましては非常に寂しい所です。

OB会の方でも何とか知恵を絞り、現役生がスキー・スケー

ト部に入ってくれる、スキー・スケート部がこれからも続いてゆく、その道筋をつけて行ければと思っております。

今後ともスキー・スケート部OB会をどうぞ宜しくお願いいたします。



サッカー部

佐藤 雄一
(97期)

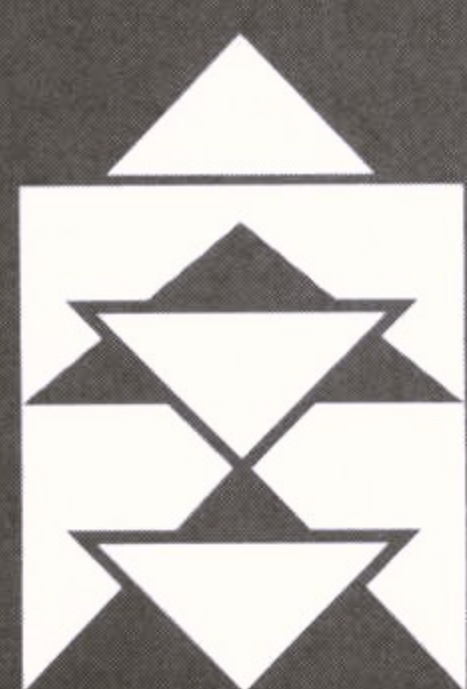
サッカー部のOB会は、現役生の支援と会員の交流を主な目的として活動しており、会員数は遂に1000人の大台に到達しまし

た。私は県内に拠点を置く職場で勤務していますが、最近では同僚だけにとどまらずご子息が高々サッカー部出身という方にもよくお会いするようになり、サッカーという競技の裾野の広さと、高崎高校の底力をあらためて実感しているところです。

さて、昨年のOB会活動状況は「初蹴会・総会・新年会の開催」や「現役生保護者会の懇親会・新年会への参加」、「翠巒体育会行事への参加」など、すっかりコロナ前の「日常」を取り戻しています。また、県シニアサッカーリーグに所属している40歳以上を対象とした「翠龍ミドルFC」、さらに50歳以上を対象とした「翠龍FC50」も引き続き活動しており、多くのOBがサッカーを楽しんでいます。

現役世代に目を向けると、今年の初めに前橋育英高校サッカー部が全国高校サッカー選手権で優勝したことは皆様の記憶にも新しいと思いますが、今、県内の高校サッカーは、その前橋育英高校を中心に、シード校常連には私立高校が並ぶ状況が続いています。その原因は、ジュニア年代でのクラブチーム化など色々あるかもしれませんが、一つには芝でのプレーが当たり前となった現代サッカーでは、公立高校が抱える環境面のハンデも見逃せないように感じています。

ただし、もちろん我々が後輩をはじめ、公立高校も与えられた環境で日々凌ぎを削っており、そのレベルの高さには目を見張るものがあります。春の総体では連日各会場に多くの保護者や高崎高校のOBが駆けつけていました。現在は、総体やインターハイ、選手権のほかにも、リーグ戦(高円宮杯)も県内



高崎中学校 高崎高等学校 同窓会総会・懇親会

124th

日時：令和8年1月24日(土)

総会 15:00～
懇親会 16:00～

場所：グランビュー高崎



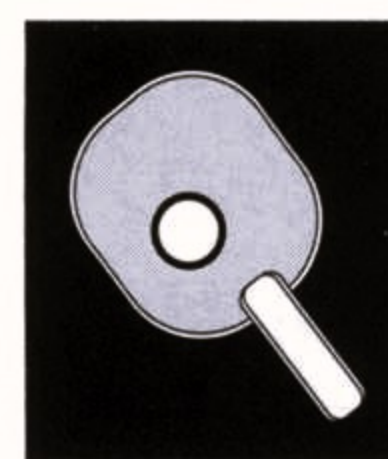
【協賛のお願い】 第124回高崎高校同窓会総会・懇親会 95期代表幹事 清水正樹

今回の第124回高崎高校同窓会総会・懇親会では、私たち95期が幹事を務めさせていただきます。

同窓会を未来へつなぐ持続可能な運営と、現役の高崎高校生への支援・貢献を視野に、企業・団体の皆さまからのご協賛を募っております。協賛は、同窓生同士の絆を深めるだけでなく、母校の今を支え、次世代へとつなげる力強い後押しです。卒業生の力が集まれば、母校に新たな価値を還元することができるはずです。ご協賛いただいた企業・団体名は、当日配布資料や新聞広告等でご紹介させていただきます。ご賛同いただける方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。皆さまの温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

✉ takataka.kanji@gmail.com

各地で開催されていますので、海外サッカーやJリーグも面白いかもしれませんが、サッカー好きの方には「高校サッカーの生観戦」をお勧めいたします。



卓球部

高橋 秀仁
(107期)

OB諸兄及び関係者の皆様には、日頃から大変お世話になっております。107期の高橋です。昨年に引き続いて私から活動報告いたします。ここ10年くらいは若手を中心としてこの活動報告をお願いしているところで、なるべく違うメンバーにやってもらうように心がけております。

今年度も活動報告を作成するに当たり、令和7年度高校総体の結果を見てみました。シングルスではベスト32、ダブルスではベスト8と健闘しており、OBとして誇らしく感じました。団体戦は、これから実施されるようです。今後も引き続き頑張ってもらいたいと陰ながら応援しております。

さて、卓球部のOB会は夏と冬で年に2回、現役生との交流試合を行っています。交流試合は、最初にリーグ戦を行い、その後リーグ戦の順位ごとに順位決定トーナメントを行います。最低でも4戦程度は試合ができます。また、その日の夜に懇親会を行い、OB同士の親睦を深めております。私も、去年は久しぶりに夏の交流戦に出て、現役生とともに汗を流しました。久々に105期のカットマンの某先輩と会うこともできました。

私がOB会の活動に携わり始めて10年弱程度経ちました。そこで感じていること等を述べてみます。これを読んで卓球部のOB会の参加のきっかけとしてもらえればと思います。

現在の卓球部OB会の状況についてです。若手が少しずつではありますが、大学生や20～30代社会人がOB会に顔を出す人数が増えつつあります。以前に比べると若手OBが参加しやすい雰囲気になってきているのかなと感じています。卓球が上手でなくても構いません、また地元に住んでいなくても構いません。若手OBの参加をお待ちしております。懇親会だけ出てもいい、最近ゴルフ始めたからゴルフコンペだけ出てもいいかなとかでもOKです。私自身はOB会に参加することで、年が離れた友人や異業種の知人・友人ができ、人生がより豊かになったのではないかと感じています。

懇親会は出たくない、交流戦だけ参加したいという方も大歓迎ですから、興味がある方は役員までお声がけください。連絡先は夏の交流戦案内に掲載しております。



応援部

清水 惺也
(123期)

去年、遠方の大学に進学したため後輩たちの練習を頻繁には見る事が出来なかったのですが、初めてOBとして翠巒祭でのリ

ーダー公開を見ることができ、その迫力に感動しました。1年前に幹部になった彼らにはまだ不安が残っていましたが、卒業する頃には素晴らしい演舞で我々の背中を押してくれました。それから翠巒祭までたった2ヶ月しか経っていないのに、さらに荘厳さを増した演舞を見せてくれました。

また、去年の7月に前橋高校と太田高校と合同リーダー公開が行われました。コロナの影響で長らく開催できていなかったため、私が幹部の年も開催できず、私もOBとしてだけでなく初めて参加するものでした。

前橋高校の演舞は定期戦などで見る事が出来ましたが、太田高校の演舞を見るのはこれが初めてでした。各校素晴らしい演舞を行い、それぞれが受け継いできた伝統を見ることができ感動しました。

そして、2025年の春休みでは毎年恒例の合宿が行われ、私は最終日だけ参加しました。今は人数が少なくなってしまう少し残念だとは思っていましたが、合宿の厳しい練習に耐える後輩の姿を見た時、この素晴らしい伝統を繋いでくれる者が1人でもいればそれだけで十分だと感じました。

応援部という伝統がいつまでも続いてくれることを願って、私はこれからもOBとして活動していきたいと思います。



陸上競技部

足立 晋
(96期)

一昨年から再開されたOB会総会が、昨年7月13日に開催され、新たに、90期の石橋修さんが新OB会長に就任することになりました。この会では、現顧問の稲垣圭吾先生(100期)に参加いただくことができ、現役生の活躍についての報告や、出席されたOB会員の方々の近況報告や現役生への激励金の贈呈も行うことができました。その他にも、OB会員による、現役生への支援、大会会場へ駆けつけての応援、卒業生への記念品(ネクタイ)の進呈といったこれまでの活動も行っています。

今年度も高校総体が終了し、400mH、5000mW、走幅跳、



GUNKYO

株式会社 群協製作所

代表取締役社長 遠山 昇(サッカー部 79期)
専務取締役 遠山 雄彦(バレー部 84期)<http://gunkyo.co.jp>

めまい・補聴器・アレルギー・各種日帰り手術

清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二(サッカー部73期)

●診察時間 午前 9:00～12:30/午後 2:30～6:30
●休診日 日祝祭日・木曜日終日・土曜日午後高崎市京目町321-4 ☎027-353-4533
<http://www.shmz-ent.com/>

社会福祉法人 愛善会

はなだか

鼻高こども園

かみたき

上滝こども園

國峯 善次郎(50期) 國峯 賢一(74期) 國峯 義仁(106期)
(サッカー部) (サッカー部) (和太鼓部)



やり投げで5名の選手がインターハイをかけた北関東大会へ進出しました。県内大会だけでなく、さらに上位の大会で活躍する現役生支援のために、これからもOB会を盛り上げていければと思います。そのためにも、OB会総会にたくさんの会員の皆様に参加していただき、会員同士のつながりを強めていきたいです。特に、若手の会員のみなさまの協力、OB会総会への参加をどうぞよろしくお願いします。

最後に、121期の井上直紀君(早大)が今年5月の織田記念100mを10"12で制し、同月に行われた世界大会では日本代表メンバーとしてアンカーを走り日本チームを世界4位に導く活躍を見せてくれました。世界陸上が東京で開催される今年、日本トップレベルのスプリンターとして活躍している本校卒業生の走りにもご注目ください。



柔道部

伊藤 俊一郎
(92期)

2025年の年明けは、1月3日に現役・OBの稽古始め、及びOB会新年会を行いました。

稽古始めは例年どおり高崎高校柔道場にて行われ、鳥居吉二OB会長(73期)、学校から田中利明先生、小林裕貴先生が見守る中、現役生で柔道部部長を務める井口真心君(2年生)の号令で開始しました。稽古始めは見学を含め計39名が参加し、そのうち現役生は2年生2名、1年生2名の計4名で、前年より2名増えました。



稽古内容は、ランニング5分間、回転運動、寝技反復受取1分間×5本、寝技乱取3分間×5本、10分間の休憩、立技打込10分間、立技乱取4分間×5本×2セットを順に行い、現役生たちは自分から積極的にOBへ稽古を申し込んでいました。昨年度途中に白帯で入部した金澤隼也君(2年生)は以前よりも動きと体格が良くなっており、顧問の小林先生も「ぜひ黒帯を取ってほしい」と話されていました。また、今回は3年ぶりに現役・OB対抗戦を行うことができ、経験豊かなOBを相手に現役生が全力で向かっていく様子を、道場内は大変盛り上がりました。稽古終わりには鳥居会長の挨拶があり、最後は全員で黙想と礼を行い、無事に稽古始めを終えることができました。

新年会は、会場をホテルグランビュー高崎にて、20人が参加しました。参加者の中には秋田県から参加をいただいた鈴木良地さん(85期)もあり、参加者は近況を報告し合いながら和やかな時間を共有し、次の再会を楽しみとすることを確認していきました。



バスケットボール部

西村 昌吾
(102期)

昨年度は塚本会長(99期)が2期目となり、会長交代後の本格的な1年となりました。

まず例年同様ではありますが、新年を迎えた元旦に、現役生とのOB戦を実施いたしました。このイベントは、現役生とOBが一堂に会し、交流を深める貴重な機会となりました。試合は白熱した展開となり、現役生の若さとエネルギーに触れることができ、私たちOBも大いに刺激を受けました。参加者全員が一体となり、楽しい時間を過ごすことができたことを心より嬉しく思っております。

また、今回のOB戦には多くの方々にご参加いただきました



テニス部OB(84期)

山口 正 仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!

ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社

TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

テニス部OB(108期)

つくなわ法律事務所

高崎市筑縄町52番地7 梅山第一ビル201号

TEL.027-395-0121

弁護士 **大野 岳** 群馬弁護士会所属

芸大・美大美術系高校 受験予備校 **高崎美術学院**

高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548

<http://www.art-takabi.com>

社会人のための **アートフォーラム高崎**

美術教室

高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585

<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行 (テニス部85期)



が、30～40代のOB諸兄の参加が少なかったことが気になりました。今後は、この年代のOB諸兄の皆様にも積極的に参加していただけるよう、さらなる呼びかけを行っていきたいと考えております。家庭・仕事とお忙しい年代であることは十二分に承知しているところでありますが、皆様の新しい視点やエネルギーが、OB会の活動をより一層活性化させると信じています。

今年も7月に総会の実施を予定しております。皆様の積極的なご参加をいただければ幸いです。

結びに、OB会の活動にご協力いただいている皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご支援があってこそ、私たちの活動は成り立ち、現役生の支援にも繋がっておりますので、引き続きOB会の活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

のか、総会・懇親会の日取りを含めての検討が必要といったことが話し合われました。会員の拡張についても、新年同窓会等の会合で在郷の若手OBとの出会いも増えてきた感がありますが、OB会の裾野の広がりにはまだ繋がっていないのが現状です。ともあれ以上の問題を喫緊の課題として継続的に取り組み、OB会のサステナビリティに繋がりたいと思っています。

さて、議題には上がったものの代替案も決まらずということで、引き続き今年度も交流試合、総会・懇親会を2025年8月9日(土)に予定させていただきます。詳細は「高崎高校テニス部OB会」のホームページ(<https://ttob.web.fc2.com>)にも記載します。まだ参加されたことのないOB諸兄も是非気兼ねなくご連絡及びご参加の程をお願いいたします。また、在郷OBによる毎週日曜日の定期練習は吉井運動公園運動場のハードコートで継続しています。こちらも年代に関わらずOBの皆さんの飛び入り参加は大歓迎です。



テニス部
北村 真行
(85期)

テニス部OB会の活動はコロナ禍を経て、昨年の夏より平常軌道に戻りました。

昨夏、新OB会長に齋藤英敏先輩(83期)の就任頂いたことを機に更なる会の盛り上がりをもっています。

昨年は8月10日(土)高崎高校テニスコートにて現役部員との交流試合を例年通り実施しました。顧問の高橋先生のお声がけで集まった1・2年生、大学に進学したOBによる混成チーム対OB会メンバーの対抗戦です。こちらも例年通りの炎天下、熱中症にだけは気をつけての打ち合いを楽しみました。練習用ボールの寄贈、記念撮影を経て怪我人もなく夕刻には無事閉会となりました。夜の総会・懇親会参加者は残念ながら昨年を割り込み10名に届きませんでした。

今後の課題として交流試合を酷暑の真夏にやるのはどうな



山岳部
吉井 章一
(78期)

昨年6月に山岳部OB会の総会を開催致しました。もともと3年おきに開催する取り決めでしたが、前はコロナの影響で中止して

おりましたので実に6年ぶりの開催でした。

OB会としての活動及び会計報告等の議題を審議した後、山の歌や応援歌翠巒を歌って楽しい時間を過ごすことができました。一般会費の他に寄付という形で援助していただくことで、OB会としての活動が維持できており感謝の念に堪えません。

一方でOB会の役員並びに出席者の高齢化も進行しております。なかなか若手の会員が増えないという現実も顕在化しております。

現役生との交流については、翠巒祭の時にOB会役員との



顔合わせを再開することができました。この交流もコロナ前から毎年行っていた行事でしたが、3年ほど間が開いたと記憶しております。3年生でも初めて顔を合わせたこととなり、OB会という組織の存在自体を伝える機会を失っていたことが大変残念に思えてなりません。

また、個人的にはそれぞれの期で気の合う仲間と山登りをしております。日帰り温泉に入って疲れを癒やし、地元へ帰って酒を酌み交わす等なかなか贅沢な時間かとお薦め致します。



剣道部

瀧野 修司
(86期)

剣道部OB会は「剣友会」と称し、夏・春の遠征に対する援助に加え、毎年1月3日に高段者や大学生らOBによる稽古会を通して現役剣道部員の生徒の技量向上を図るとともに、総会・新年会の開催によって会員同士の親睦と交流を行っています。

今年の1月3日の稽古会は、久しぶりにOBと現役生との稽古が実現できました。現役生15人、OB21人の総勢36人が剣道場で剣を交えました。

OBの活躍としては、北野寛平先輩(105期)が全日本都道府県対抗剣道大会において中堅として出場し、群馬県代表選手の名に恥じない活躍をされました。

また、中学教員で剣道部顧問のOBが勤務校の剣道部員とともに高崎高校に練習に出向いて例年通りに交流を行うことができました。

上記の情報について、これまではなかなか会員間で交流を行う機会がなかったのですが、今年より「高々剣友会」のグループLINEを立ち上げ、現在80名ほどの登録者に達しています。これを機に、OB会活動の周知をさらに進めていきたいと考えています。

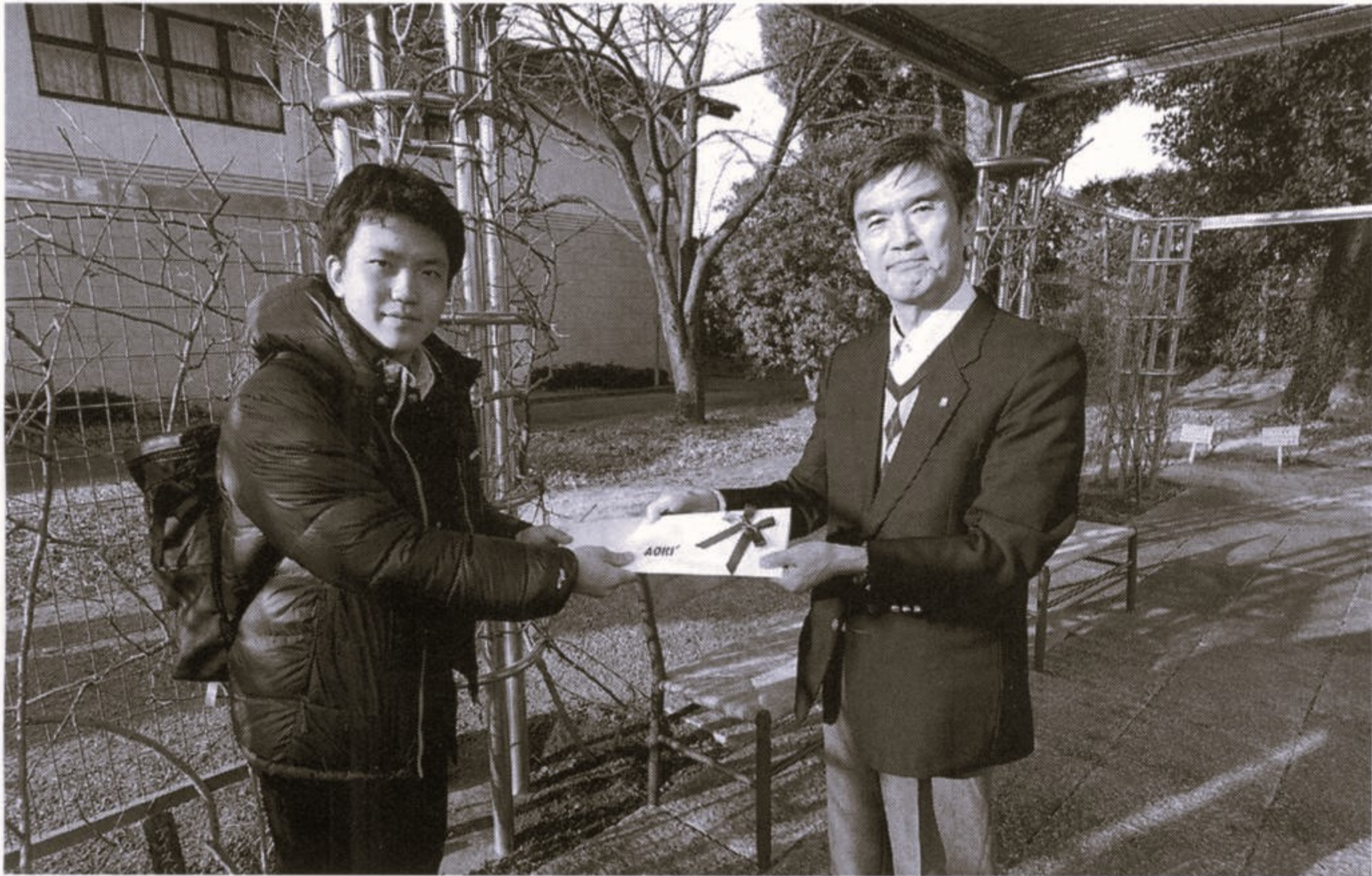
高校剣道部の活動も、顧問の木村拓也先生と高橋瑛人先生(110期)に熱心に指導していただいています。今後もOB会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立ていきます。



水泳部

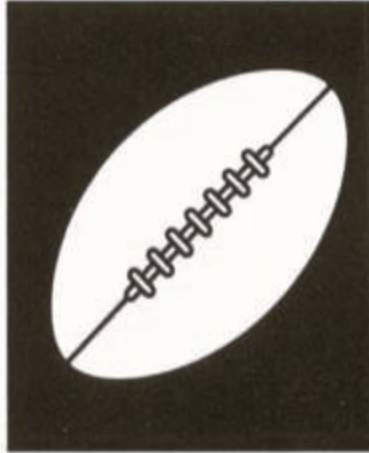
新藤 洋一
(81期)

コロナが明けて、OB会活動も戻ると思いきや、高齢の先輩は体力的な理由などから足が遠のき、若い世代へのつながりも見いだせず、尻つぼみになりつつあります。総会の案内を出しても一



桁の参加者では開催もままならず。そこで、毎年そこそこ人が集まっていた新年会と総会を抱き合わせて開催することにしました。

今後のOB会の運営については、翠巒体育会の役員に相談し、次号で本テーマについて座談会を行う運びとなっています。また、コロナ騒動から始めた、卒業生へのネクタイプレゼント。贈呈の場に初めて参加しました。今年は一人。もう一人いた部員(生徒)は、海外留学をしたため、卒業は来年になるということです。私の世代ではいなかった、スケールのでかい後輩がいて、たくましく感じました。



ラグビー部

芳賀 弘幸
(81期)

翠巒体育会の会員の皆様には、日頃よりお世話になっております。高崎高校ラグビー部OB会は、現役生の応援のための活動

を行っています。

まず、初めに悲しいお知らせをしなくてはなりません。我々ラグビー部の大先輩であり、アジア初のラグビーワールドカップの日本招致を実現させた2019日本招致委員会 委員長 真下 昇(56期)さんが4月にご逝去されたことです。心よりご冥福をお祈りします。

1月には長く伝統的になっています現役生との「OB戦」を行いました。若手OBと現役生との試合は見ているものを熱くさせてくれました。そのあと場所を変え「新年総会懇親会」を行いました。旧知の仲間と杯をかたむけ、楽しい時を過ごすことができました。

また、3月には、「第15回ラグビー祭」を開催しました。現役・若手OBの合同試合やおじさんたち同士の試合も行い、たくさんの人たちがラグビーの楽しさに浸りました。試合後は、バーベキュー、ビンゴやラグビー用品のオークションを行いました。バーベキューには小中学生も参加し、焼き肉、海鮮に楽しんでいました。

そして、もう8年目になりますが、12月にラグビー部OB会主管で1年生の体育の授業においてラグビーの体験授業を行いました。たくさんのOBが授業に参加してくれました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい体育での冬のラグビーが授業で復活できるよう、ラグビー部OB会は高高のラグビー授業にも積極的に関わっていきたいと思っています。

また、5月11日に農大二校を破り、高校総体3位を奪取し、関東大会に出場することが決まりました。OB会として、いろいろ



な援助をしていく予定です。

これからも高高ラグビー部がさらに躍進できるよう、春の関東大会、夏の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたいと思っています。

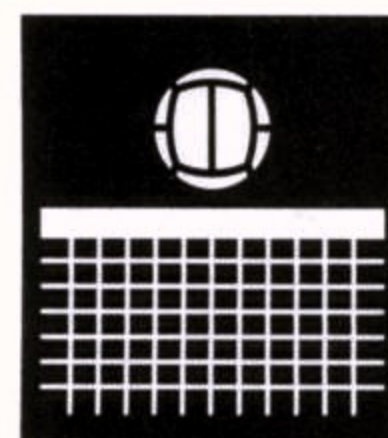


ソフトテニス部
梅村 唯斗
(106期)

2024年8月10日(土)、35度近い猛暑の中、高崎高校テニスコートにてOB・現役との親善試合が行われました。例年通り幅広い

世代のOBが参加し、現役と熱戦を繰り広げていました。また今年度もOBから現役へアドバイスを送る場面がたくさんあり、OBと現役とのよい交流の場となりました。

また、親善試合後には新型コロナウイルス流行以前に行っていたOBと現役との間で行われる懇親会を、以前と同じような形式で開催することができました。今後ともOBと現役との間の親交をより深めていければと考えております。



バレーボール部
菊地 新太
(110期)

OB諸兄及び関係者の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

現役生達は、2024年8月に大分県で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)で、10年ぶり6回目の出場を、2025年1月に開催された全日本バレーボール高等学校選手権大会(春の高校バレー)で、念願の47年ぶり2回目の出場を果たしてくれました。私自身もチームスタッフとして関わらせていただく中で、現役生達の頑張りを間近で感じることができました。高高生らしく、自分達で考え、話し合い、課題克服に向けて練習に取り組むと同時に、全国の強豪校のハイレベルなプレーを吸収しようと必死に努力をする姿を見せてくれました。

群馬県内で勝つことが目標であったチームが、インターハイでの経験を通して、全国で一勝することを目標に日々成長

していく姿には、頼もしさを感じました。また、顧問の砂川先生(111期)の献身のもと、全国の様々な強豪校との繋がりを増やし、多くの経験を蓄えながらチームのベースアップに努めていました。

県外での活動や大会が増える中で、大きな支えとなっていたのは、やはりOB諸兄及び関係者の皆様のご支援とご声援であったと強く感じております。チームスタッフとして、この場を借りて感謝申し上げます。

新たなチームも成長が期待できる選手達が揃っていると感じます。今後も一OBとして、最善の支援を行えるように尽力していきたいと思ひます。

◇翠巒クラブメンバー募集中

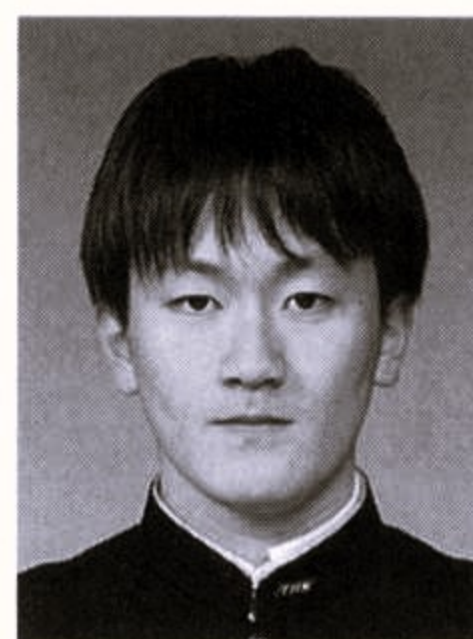
練習日 毎週火・金19時～ 高崎市立群馬南中学校
お問合せは、こちらから↓

Instagram: @SUIRANCLUB_VOLLEY



《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます



スキー・スケート部

岩橋 洋登

スキー・スケート部は現在部員0名です。私が昨シーズンを最後にスキー・スケート部を引退したあと、この部活に入部を希望する生徒は現れませんでした。

昨シーズンは今年受験を控えているということもあり十分に練習することはできませんでしたが、限られた時間の中でも集中して1本1本の滑りの精度を高め、滑りの質の向上に努めることができました。

最後になりますが、2年間この伝統ある高崎高校のスキー・スケート部で活動できたことを本当に光栄に思っています。また、サポートしていただいたOBの方々やこの部活に携わっていただいたすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

表野登記測量事務所

土地・建物の登記・測量／開発申請／相続／各種許可申請

土地家屋調査士 表野 真拓(ラグビー部・83期)

高崎市小八木町1450番地7

TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287

E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp

しばやま歯科

柴山 佳行(ラグビー部・96期)

〒370-0849高崎市八島町107-102

TEL.027-393-6480

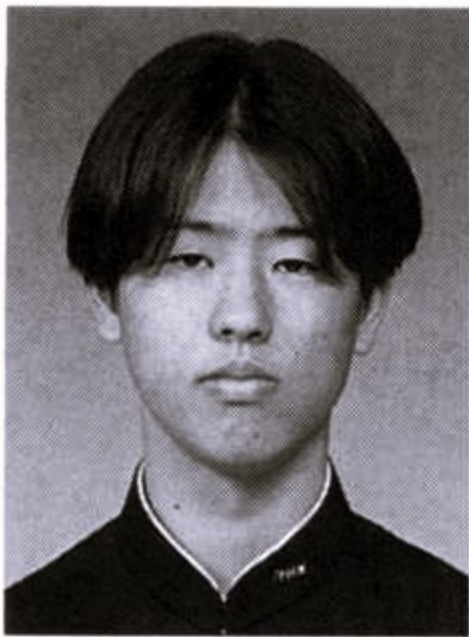
株式会社 有花園

亀田 慎也(ラグビー部・88期) 亀田 壮太(バスケット部・117期)

亀田 圭吾(ラグビー部・94期) 亀田 敦也(JRC・119期)

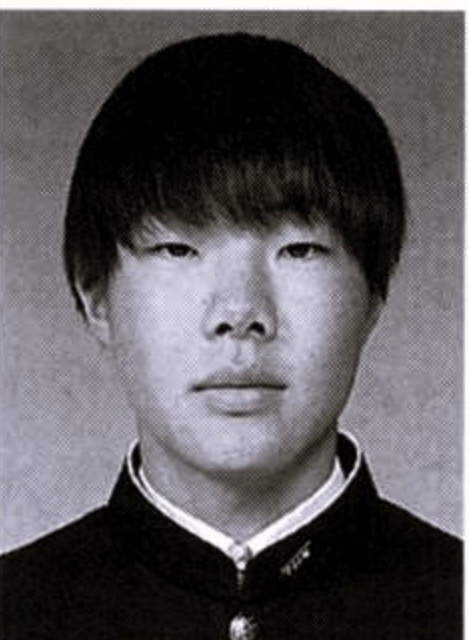
亀田 伍朗(バスケット部・現役) 〒370-0806 高崎市上和田町8

TEL.027-322-4875



空手道部 門脇 駿

空手道部部長の門脇です。空手道部は現在3年生4名、2年生2名、1年生1名の計7人で顧問の岡田先生のもとで活動しています。空手道部は毎年廃部の危機にさらされていましたが1年生が1名入ってくれたおかげでこのさき2年ほど部は存続していきます。高校から空手を始めることに抵抗がある人が多いようですが現部員の半数以上が高校から空手を始めており、団体組手で県3位、個人組手関東3位などの成績を収めてきました。他校との練習会や正心館や龍虎会の先生方からの指導を経て初心者からここまで成長できたのだと思います。私達3年生は残す大会があと2つとなり、5月の上旬あたりに高校総体が控えています。送迎をしてくれる保護者、指導してくださった先生や共に高めあってきた仲間に対する感謝の気持ちを忘れずに試合終了のブザーが鳴るまで全力をつくして行きます。

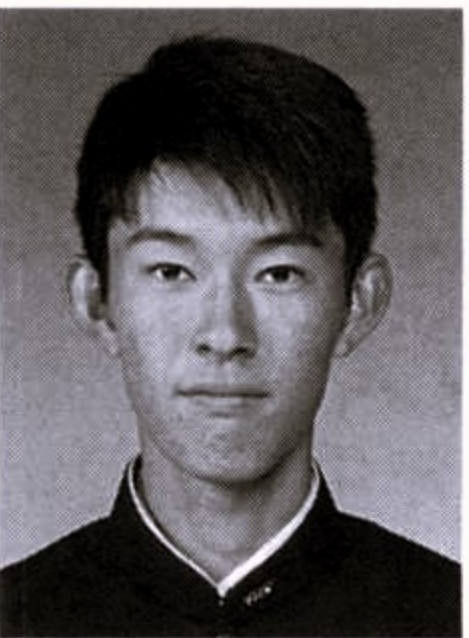


軟式野球部 中田 隼椰

軟式野球部は、顧問の田島先生、副顧問の高橋直先生、今井先生、小林量先生のご指導の下、3年生5名、2年生7名、1年生7名の計19名で活動しています。

昨年の夏と秋の県予選では惜しくも突破することができず、チームとして多くの課題を残し冬を迎えました。今年こそは県予選を突破し上位の大会へ出場すべく、現在も練習に励んでいます。我々は「自分たちのチーム」であることを自覚し、より積極的なプレーができ、楽しく野球ができる雰囲気づくりに努めています。野球経験の豊富な人から未経験の人まで幅広い枠の人が一枚岩となって日々邁進しています。

最後に、日頃から部活を支えてくださる先生方、保護者の方々、OBの皆様など、すべての方々への感謝を忘れずに自分たちらしく取り組んでいきますので応援のほどよろしくお願いします。



ソフトテニス部 大河原 兜

ソフトテニス部は、3年生5名、2年生9名、1年生15名の計29名で活動しています。顧問の萩野谷先生、副顧問の菊地先生、コーチの大澤さんのご指導のもと、日々練習に励んでいます。

私達は、「団体でインターハイに出場する」というチームの目標を掲げ、顧問の先生が申し込んでくださる数多くの練習試合を無駄にせず、一人ひとりが本番の試合を想定して真面目にプレーしています。その努力の蕾が花咲くように、各種大会において入賞することが増え、チームとしてとても良い雰囲気の中、部活動を行っています。また、先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、高崎高校の名を全国に轟かせる勢いで頑張ろうと思います。

最後に顧問の先生方や保護者の方々、OBの方々の支えに感謝して、これからの大会を全力で取り組んでいきますので、ご声援をよろしくお願いします。



剣道部 若林 和敬

私達剣道部は、木村先生、高橋先生のご指導のもと、3年生10名、2年生6名、1年生5名の計21名で日々稽古に励んでいます。

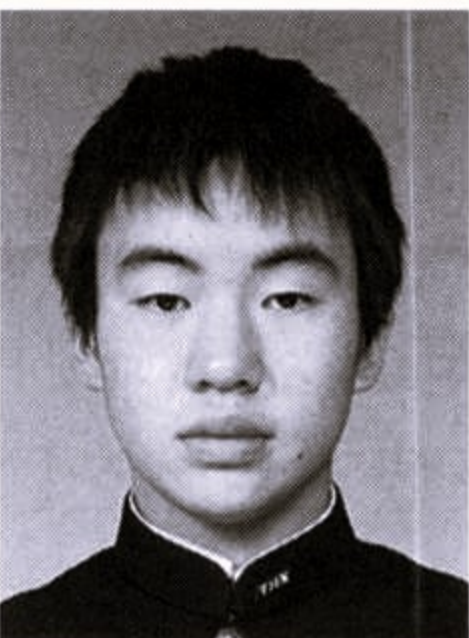
高高剣道部は、人間形成と文武両道を念頭に活動しています。昨年、インターハイ予選で県3位、新体制で迎えた選手権大会でも県3位と目標としてきた県3位の成績を収めることができました。これも先生方のご指導とOBの先輩方のご支援、保護者の皆様のサポートによるものだと感じています。今の目標は、高校総体で3位に入賞し、念願だった関東大会への出場です。先生方、OBの先輩方、保護者の皆様への感謝の気持ちを忘れずに目標達成へ向けて部員一丸となり精進していきます。永きにわたり継承されてきた高高剣道部、不撓不屈の精神を胸に、これからも邁進していきたいと思います。引き続き応援よろしくお願いいたします。



硬式野球部 廣澤 圭亮

私たち硬式野球部は夏季大会で優勝し、甲子園に出場することを目標として日々活動しています。春の大会では、同じ公立の進学校に実力の差を見せつけられ負けてしまいました。このままでは終わりたくないと考え、「breakthrough～No.1の公立校～」というチームスローガンを掲げて夏の大会に向けて再スタートを切りました。

私が思うに現在のチームは、個々の潜在能力は昨年のチームよりも高く、選手それぞれが自らの持っている力を最大限発揮することができれば、甲子園出場という目標は達成できるのではないかと考えています。なので、チームとしても個人としても練習、練習試合は結果よりも内容にこだわって、一つでも多くの課題を潰して夏の大会で最高の結果を残せるように全力を尽くしていきたいです。



バレーボール部 新保 怜央

バレーボール部は顧問の砂川先生、副顧問の木暮先生のご指導の下、3年生5名、2年生11名、1年生14名の計30名で活動しています。

昨年度は、新人戦、県総体、インターハイ予選、春高予選の4つの県大会において優勝を果たし、県内4冠を達成しました。今年度も引き続き県大会優勝を目標にしていますが、現在は怪我人が相次ぐなど、困難な状況にも直面しています。しかし、部員一人ひとりが自分に最大限できることを常に考え、苦境をチャンスと捉えながら、目標達成に向けて厳しい練習を積み重ねております。

最後になりますが、保護者並びにOBの方々のおかげで、日々の練習や遠征を充実して行えていることへの感謝を忘れず、今後も大会での結果という形で恩返しができるよう、部員一同精進してまいります。応援の程よろしくお願いします。

株式会社広田住宅センター



代表取締役
広田 金次郎 (柔道部95期)

高崎市田町92(群馬銀行高崎田町支店向かい)

TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181



株式会社
市川食品

〒370-0088 高崎市行力町270-2

TEL:027-344-5800 www.yuuhachi.co.jp

代表取締役社長 市川 英久 (柔道部 91期)

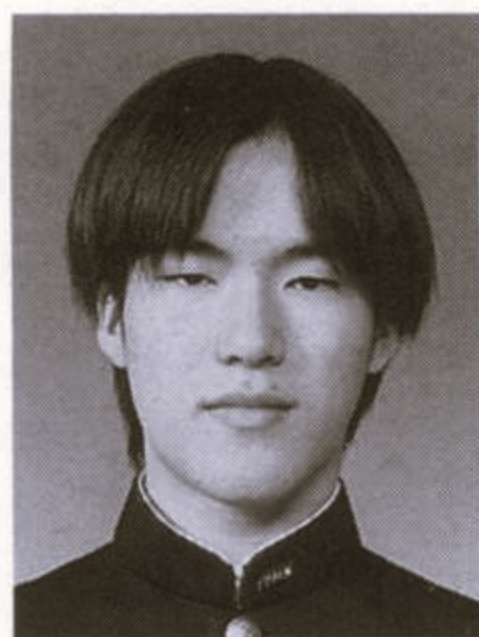
高崎駅西口

木屋駐車場

TEL 027-322-5712

〒370-0052 高崎市旭町128

鳥居 吉二 (柔道部 73期)



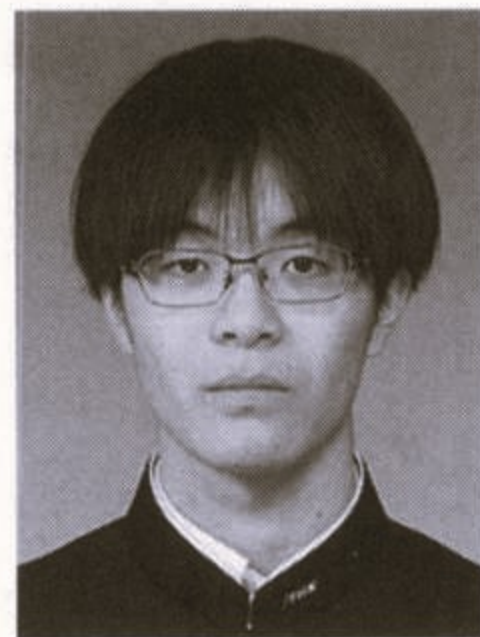
バドミントン部

松本 恵士

私たちバドミントン部は、顧問の箕輪先生、副顧問の飯塚先生にご支援をいただきながら、また、高高OBでいらっしゃる相馬さんに年間3～4専門的なご指導をいただきながら、部員27名で日々練習に励んでいます。

高高バド部は、高校から競技を始めた者が大半の部活です。そのような中でも、私たちは前年度からの練習を引き継ぎつつ、他の練習メニューを自主的に調べ、部員同士で情報を共有しながら「より強い高高バド部」を、具体的には前年度の大会成績以上を目指して、練習を行い、部全体としての実力向上に努めてきました。今までは全く敵わなかった学校に渡り合えるよう、これからも日進月歩練習に向き合っていきます。

今後もバドミントンができるこの環境に感謝しながらより高みを目指していきますので応援よろしくお願いします。



卓球部

小須田 沓真

私たち卓球部は、顧問の横田先生、長谷川先生のご指導の下、3年生7名、2年生9名、1年生7名の計23名で活動しています。

卓球部は昨年度の高校総体の団体戦で、熱戦に次ぐ熱戦を制し、創部史上初の関東大会に出場することができました。今年はそこで得た貴重な経験を糧にし、部としてさらに成長できるよう一生懸命練習に取り組んできました。日頃の練習は生徒各自の自主性を重んじて、それぞれが自分に必要だと思うことを考えて取り組み、週末に組まれる練習試合で実力を試し、試合で勝ちきれぬ力をつけるべく頑張っています。

最後になりますが、私たちを支えてくださる顧問の先生、OBの皆さん、その他関わってくれる全ての方への感謝を忘れず、これからも全力で頑張ります。今後も高崎高校卓球部の応援をよろしくお願いします。



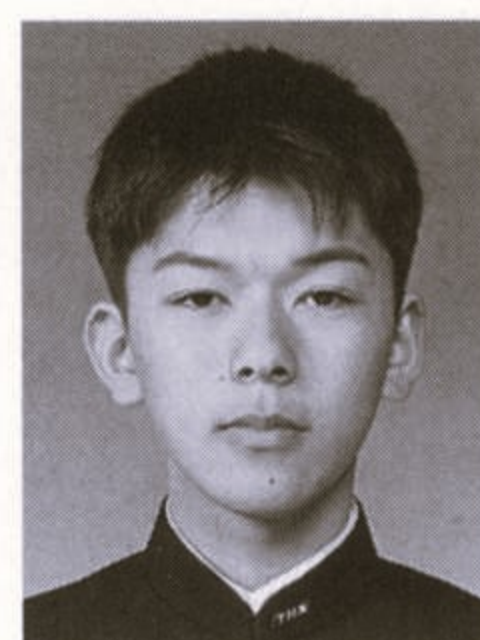
テニス部

馬場 真

私達硬式テニス部は顧問の高橋先生、副顧問の中川先生のご指導の下、3年11人、2年10人、1年13人の計34人で活動しています。日々の練習では、学校のコートや並榎コートを利用し、団体戦ベスト4、個人戦のシングルス、ダブルスでは本戦出場を目指して日々練習しています。

県内の強豪校に比べると、練習量や技術では劣ってしまいますが、高高生の得意分野である考える力を活かして、劣っている部分を補いながら一日一日の練習を大切に、各自が高い意識を持って練習に取り組むことで、一つでも多くの勝利をつかめるよう日々邁進してきました。

最後に、日頃から部活を支えてくださる先生方、家族やOBの方々への感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かって努力し、良い結果を残せるよう全力で取り組んでいきますので、応援よろしくお願いします。



弓道部

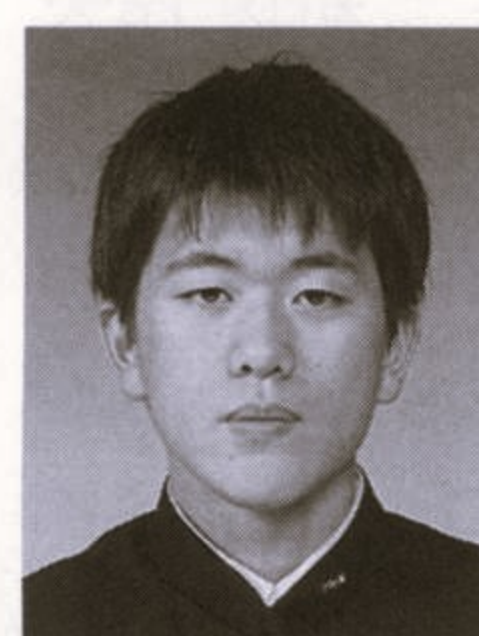
飯塚 響

私達弓道部は、顧問の金谷先生、コーチの東宮先生のご指導の下、3年生9名、2年生4名、1年生11名の計24名で、日々練習に取り組んでいます。

現在は県高校総体やインターハイ予選に向けて、部員一同、射技向上に努めています。引退していった先輩方の思いを引き継いで、更に意識を高く持って練習に励み、今まで重ねてきた鍛錬の成果を発揮し、大会での上位入賞という目標を達成できるように頑張ります。

また、1年生への指導も始まり、弓道の楽しさや大切なことを教えるとともに、教える事によってまた自分たちの射を見直し、充実した部活動を日々行っています。

最後になりますが、自由に部活ができること、練習できる環境が整っていること、支えてくださる方々がいることに感謝し、今後の練習、大会に力を尽くしていきますので、応援よろしくお願いします。



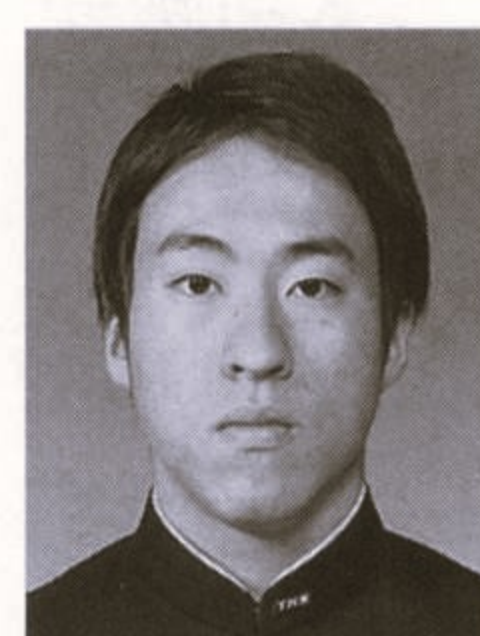
陸上競技部

福本 響

私達陸上競技部は3年20名、2年21名、1年21名の計62名というかなりの大人数で活動しております。

伝統ある陸上部の一員として、その名に恥じぬよう日々の練習に真摯に取り組んできました。これまで築かれてきた歴史と先輩方の努力を胸に、チームの団結力を武器に全力で挑みます。一人ひとりが自覚と責任を持ち、結果で伝統をつなげられるよう最後まで全力で走り抜けます。

また近年では私立高校の飛躍により公立高校にとって結果が残しづらくなっている現状があると思われます。しかしながらそのような風潮の中でも高崎高校陸上部が公立の雄として引っ張っていけるよう努力を重ねたいと思います。そして部活動だけでなく高々生として勉強や学校行事にも全力で取り組んでいきます。



バスケットボール部

島田 秀磨

バスケットボール部は顧問の小澤先生、副顧問の川田先生のご指導のもと、3年生11名、2年生18名、1年生14名の計43名で活動しています。

私達は、昨年のインターハイ予選においてベスト16で終わってしまった悔しさを晴らすべく「戮力協心」のスローガンのもと日々の練習に取り組んでいます。少ない練習時間の中で、大きな成果を出すことに重点をおき、バスケットボールにも勉強にも励み、文武両道を堅持しています。また、伝統である、ハードなディフェンスを行い、厳しい練習の中でも、チーム一丸で切磋琢磨し、必ず目標を成し遂げようと思います。

最後になりますが、私達の活動を支えてくださっている、先生方、保護者の方々、OBの方々に感謝し、期待に応えられるよう、日々の練習に精進していきます。今後とも応援よろしくお願いします。



内科・皮膚科・泌尿器科・外科
いわい中央クリニック

院長 神保 裕之 (スキー・スケート部83期)

診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

安中市岩井2465-1 ☎027-381-2201 電話予約可



産科婦人科
館出張

佐藤病院

院長 佐藤 雄一

スキー・スケート部OB(86期)

〒370-0836 群馬県高崎市若松町96
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248
http://www.sato-hospital.gr.jp/



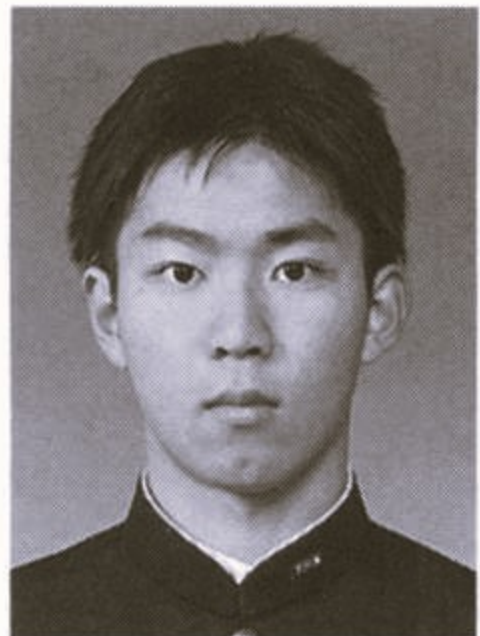
沼野クリニック

内科・胃腸科・外科・皮膚科・美容外来(予約制)

院長 沼野 藤雅 (スキー・スケート部89期)

診療時間: AM9:00~12:30 PM3:30~6:30

休診日: 日曜・祝日 皮膚科・美容外来は木曜のみ診察
高崎市柳川町15番地 ☎027-322-2926



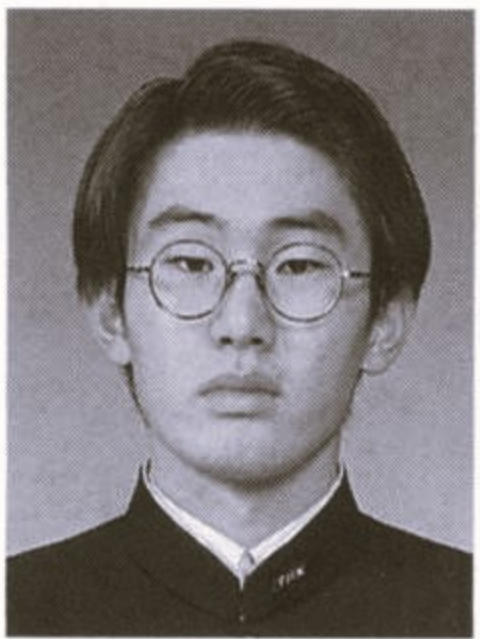
水泳部

大塚 翼

水泳部は、3年生6名、2年生7名、1年生1名の計14名で、顧問の青木先生、副顧問の鈴木先生のご指導の下、関東大会、インターハイ出場を目指して練習しています。練習は各クラブに所属していたり、プールサイドで筋トレをしたりしています。

昨年度は関東大会出場を果たすことができましたが、水泳部の目標の1つでもある全リレー種目での関東大会出場を、残り1秒で1レースだけ逃してしまいました。今年は県でも上位に入る高い能力を持った部員が多く集まっています。今年こそは上位大会に全リレーで出場できるように努力を積んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、お世話になっている先生方、OBの方々、保護者の方々には深く感謝を申し上げます。皆様の支えのお陰で活動できています。今後とも応援よろしくお願いします。



應援部

角田 文武

第漆拾参代應援部主将を務めております、角田 文武と申します。去る4月の部編成に際し、新たに2名の新人を迎え入れ、我々應援部はさらなる結束のもと、高崎高校の勝利と栄光のため、日々鍛錬を重ね、應援の高峯を志し邁進しております。

應援とは、単なる声援にとどまらず、魂をもって校友を鼓舞し、己のすべてを懸けて臨むものであると、肝に銘じております。また、各種学校行事においても常に先頭に立ち、高高生の士気を高め、校風の体現者たらんと努めております。

我々は母校を愛し、揺るがぬ信念をもってその伝統と誇りを護り、継承してまいる所存でございます。ゆえに、天下の王道を闊歩する高高生たる矜持を胸に、時流に阿ることなく、「應援部(員)とは何か」を求め続けてまいります。何卒、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。押忍。



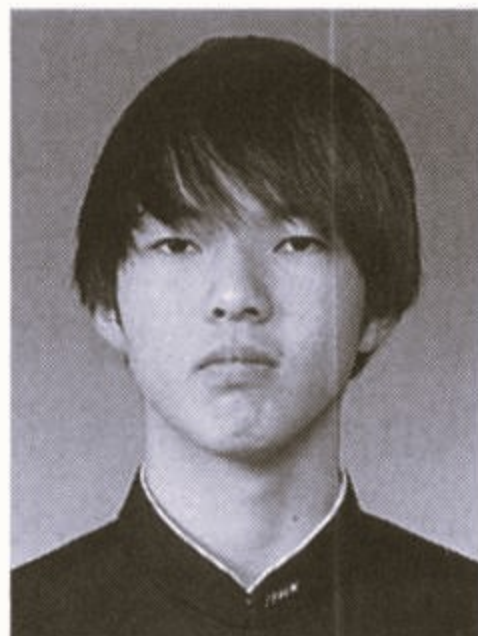
サッカー部

佐野 維

私たちサッカー部は、顧問の笠原先生、副顧問の徳光先生、岡田先生のご指導の下、1年生18名、2年生24名、3年生19名で日々活動しています。

目標は、高校総体、インターハイ、冬の選手権でのベスト8です。今年はベスト8に入り、更なる高みを目指していきたいです。全員が走りチームのために戦う自分たちのプレイスタイルに磨きをかけ、各プレーをさらにより良いものにしていくために練習に取り組んでいます。

日頃から私たちを支えてくださる先生方、保護者の皆様、そしてOBの方々への感謝の気持ちを忘れずに自分たちの高校サッカーの集大成である高校総体、インターハイに向けて励んでいきますので、引き続き皆様の応援をよろしくお願いします。

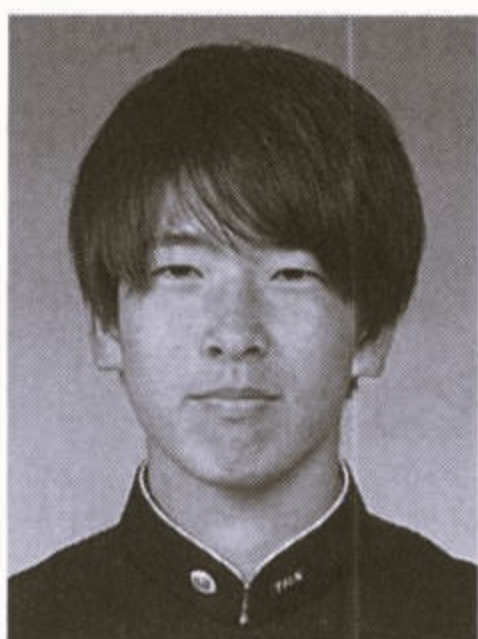


山岳部

後閑 匠真

山岳部は顧問の長谷川太一先生、副顧問の國富先生、そして中山先生のご指導の下、毎月の山行や日々の自主トレーニングに励んでいます。昨年度は新入部員にも恵まれ、校内でのテント泊練習をはじめ、8月には男体山山頂でご来光を拝み、2月には輪かんじきをつけた雪上歩行や雪洞作りといった山岳部ならではの体験を多くの部員とともにさせていただきました。

また高崎高校山岳部OBの方々のご支援もあり、昨年度県高校総体では好成績を収めて関東大会の出場を果たしました。これからもOB、先生方などの私達の活動を支えてくださっている周囲の方々への感謝を忘れることなく、楽しく安全な登山を心がけて日々活動していきますので応援よろしくお願いします。

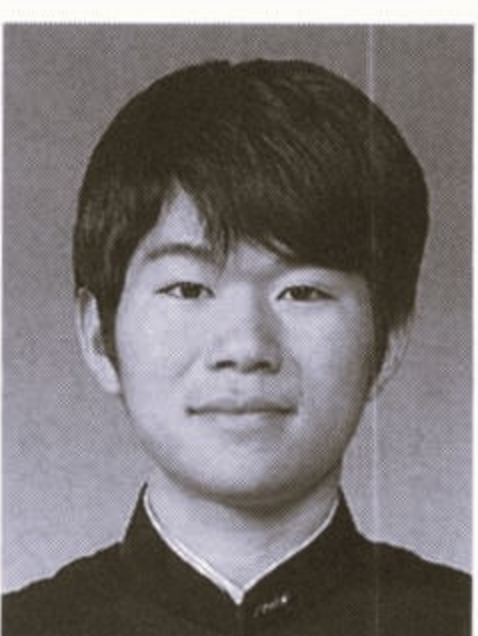


ラグビー部

大塚 亮輔

私達ラグビー部は、皿山先生、齋藤先生、青木先生、外部コーチの方々のご指導のもと、3年7名、2年9名、1年12名で活動しています。ラグビーの本戦は秋です。3年生は受験勉強との両立で忙しいですが、「打倒私立」という目標に向かって日々の練習に取り組んでいます。春の総体では、3位決定戦で農大二高を倒し、12年ぶりの関東大会出場を決めることができました。秋には決勝に進みたいと思っています。

チームのスローガンは「thinking rugby」です。自ら考え、主体的、積極的にプレーをしようと努めています。部員には高校からラグビーを始めた者が多くいますが、チームワークは他校に負けていません。ラグビー部は周りの方々から愛されています。OBの方々には物心両面からサポートしていただいています。本当にありがとうございます。感謝の気持ちを胸に、これからも精進していきたいと思っています。引き続き応援よろしくお願いします。



柔道部

井口 眞心

柔道部は3年生2名、2年生2名、1年生5名の9名となり、顧問の小林先生や、全日製の田中教頭先生のご指導のもと日々の稽古に励んでいます。

新体制となり、団体戦関東大会出場を目標に、打ち込み、乱取りを通して得た理合を部員で共有し、更にそれぞれの体格や技に工夫して落とし込む、「考える柔道」の伝統を引き継ぎ、日々の稽古で実践しております。また、「考える柔道」の真価は柔道にとどまらず、勉強でも本質を主体的に捉えようとする姿勢に繋がり、文武両道の堅持が実現できています。

最後になりますが、日々協力して下さる先生方や保護者の方々、OBの方々への感謝の気持ちを忘れず、それぞれの目標へ邁進して参ります。応援よろしくおねがいたします。

山岳部OB(79期)

代表取締役・一級建築士 須川 光一

リフォーム工房 | 一級建築士事務所

株式会社 スカワ

創業60年・地域密着リフォーム専門店

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井会計事務所

高崎市上中居町1646-1 TEL 027-386-5500

令和6年度運動部活動状況

硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会
1 回戦 9- 0 伊勢崎
2 回戦 13- 3 館商工
3 回戦 1- 2 樹 徳
夏季西毛リーグ
11- 1 6 校連合
1- 7 県 央
10- 0 富 実
10- 1 藤中央
秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選
1 回戦 4- 8 高 北
春季西毛リーグ
3- 6 高 商
17- 2 富 実
8- 1 藤 北
春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選
1 回戦 4- 0 桐 工
2 回戦 2- 8 桐 生

バレーボール部

全国高等学校総合体育大会バレーボール競技県予選会
3 回戦 2-0 高 東
準々決 2-0 高経附
準決勝 2-0 伊勢崎
決 勝 2-1 前 商 優勝
令和6年度 群馬県高等学校バレーボール選手権大会兼
第76回 全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選会
3 回戦 2-0 桐 生
準々決 2-0 高 工
準決勝 2-0 太 田
決 勝 2-0 県 央 優勝
群馬県高等学校バレーボール男子新人大会
3 回戦 2-0 高 商
準々決 2-0 桐 商
準決勝 2-1 前 商
決 勝 2-0 高 工 優勝

空手道部

新人大会
団体 3人制組手 第3位
個人 61kg級 ベスト 4

水泳部

令和6年度 高校総体 総合 3位
50m自 吉江 雅 6位(関東出場)
100m自 吉江 雅 6位
400m自 後藤滉己 7位
1500m自 後藤滉己 3位(関東出場)
100m背 清水優太 7位(関東出場)
200m背 清水優太 7位(関東出場)
200m平 上原拓己 6位
100mバ 古川遥翔 7位(関東出場)
200mバ 古川遥翔 5位(関東出場)
200m個メ 廣瀬 翼 3位(関東出場)
400m個メ 廣瀬 翼 2位(関東出場)
上原拓己 4位(関東出場)

400mR 吉江・廣瀬・大塚・後藤 4位(関東出場)
800mR 後藤・廣瀬・上原・古川 4位
400mメR 清水・廣瀬・古川・吉江 4位(関東出場)
群馬県高等学校選手権水泳競技大会 総合 4位
100m自 吉江 雅 8位
100m背 清水優太 3位
200m背 清水優太 4位
200m平 上原拓己 4位
100mバ 古川遥翔 4位
200m個メ 廣瀬 翼 8位
400m個メ 廣瀬 翼 2位
上原拓己 4位
400mR 廣瀬・吉江・清水・後藤 3位
800mR 廣瀬・清水・長谷川・後藤 5位
400mメR 清水・後藤・古川・吉江 4位
群馬県高等学校新人水泳競技大会
50m自 大塚 翼 1位
100m自 大塚 翼 3位
50m背 平井昊也 4位
50m平 竹内誠一 4位
200mR 大塚・竹内・堀口・高田 1位
200mメR 高田・竹内・堀口・大塚 1位

柔道部

《柔道競技》
令和6年度 第72回群馬県高等学校新人柔道大会
男子団体Bブロック 第3位

ソフトテニス部

群馬県高校選手権大会
個人 ダブルス
大河原・茂木ペア準優勝(全国大会出場)
片貝・田村ペア 第3位(全国大会出場)
群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会
個人 シングルス 大河原 優勝
群馬県高等学校新人ソフトテニス大会
団体 第3位
個人 ダブルス 大河原・齊藤ペア 準優勝
ゴーセン杯争奪ハイスchoolジャパンカップソフトテニス2025
群馬県代表選考会
個人 ダブルス 大河原・齊藤ペア 優勝
(全国大会出場)
シングルス 大河原 準優勝

ラグビー部

全国7人制大会予選
2 回戦 32-21 樹 徳
準々決 19-24 農 二 ベスト 8
1年生大会
1 回戦 38- 0 合同D(渋工・高工・関学)
準決勝 0-26 桐 一
3 位決 10-22 農 二 4 位
選手権大会(全国大会予選)
1 回戦 97- 5 渋 工
準々決 17-15 太 田
準決勝 0-45 桐 一 ベスト 4
新人大会
準々決 15-12 太 田
準決勝 7-94 県 央
シード決 棄権 農 二 ベスト 4

軟式野球部

第72回春季関東地区高等学校軟式野球大会
群馬県予選大会
1 回戦 8-7 四校連合
2 回戦 4-5 太 田
第69回全国高等学校軟式野球選手権
北関東地方大会 群馬県予選大会
2 回戦 0-2 農 二
第65回秋季関東地区高等学校軟式野球大会
群馬県予選大会
2 回戦 10-0 館 林
準決勝 4-5 太 田 第3位

剣道部

令和6年度 インターハイ予選
団体 1 回戦 3-0 高 東
2 回戦 4-1 高 商
3 回戦 1-1 前 橋 (本数勝ち)
準決勝 0-4 沼 田 第3位
令和6年度 選手権大会
団体 2 回戦 5-0 新 島
3 回戦 2-1 太 田
準決勝 0-4 育 英 第3位
令和6年度 学年別大会
1 年生 羽鳥 ベスト32
令和6年度 新人戦
団体 2 回戦 1-1 伊勢崎 (本数勝ち)
3 回戦 1-3 沼 田 ベスト 8

山岳部

第59回県高校総体(榛名山)
第1部 男子 第7位
関東大会出場(この大会は特に順位が付きません。)

陸上競技部

北関東大会
5000mW 深野陽光 23分19秒45 5位
(インターハイ出場)
県高校新人
400mH 梅津壮良 56秒58 4位
(繰上関東)

サッカー部

令和6年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技
群馬県予選
4 回戦 1- 1 利 商 (PK5-4)
準々決 0-10 育 英 ベスト 8
令和6年度 第103回全国高等学校サッカー選手権大会
群馬県大会
3 回戦 0- 1 新 島 ベスト12
令和6年度 群馬県高等学校サッカー新人大会
2 回戦 7- 1 藤 工
3 回戦 0- 1 前 商 ベスト16

卓球部

インターハイ予選
団体 2 回戦 2-3 高 商
新人大会
団体 1 回戦 3-0 商大附

K A I b o u s a i I n c .
株式会社 甲斐防災

〒370-3531 高崎市足門町725-16 TEL.027-373-3915

消防用設備の工事・点検
お任せください！
代表取締役 甲斐 俊輔
(陸上部 87期)



2回戦 0-3 樹 徳
シングルス 松下・矢作 ベスト32

バドミントン部

インターハイ予選

団体 1回戦 3-0 育 英
2回戦 1-3 富 岡
シングルス 山田竣哉・田島凰生 ベスト64
ダブルス 山田・田島ペア ベスト64

新人戦

団体 1回戦 0-3 館商工
1年シングルス 佐藤秀祐 ベスト32
小暮珀亜・今岡龍雅 ベスト64
ダブルス 稲村・白井ペア ベスト64

県高校新人大会

シングルス 城田晴輝 ベスト16
稲村直大 ベスト32

バスケットボール部

インターハイ予選

1回戦 111- 55 高 北
2回戦 98- 48 市太田
3回戦 71- 93 前 商 ベスト16

WC予選

1回戦 128- 36 安総合
2回戦 129- 59 清 桜
3回戦 71- 88 桐 生 ベスト16

新人大会

2回戦 99- 47 商大附
3回戦 86- 68 高 商
準々決 90-101 新 島
5位決 73- 74 桐 生 7位

GuBA 2部リーグ

71- 69 桐 生
92- 55 前 橋
70- 47 高 商
88- 56 伊勢崎
78- 56 群馬クレインサンダーズU18
最優秀選手 宮崎拓弥

テニス部

インターハイ予選

団体 1回戦 3-0 館 林
2回戦 1-2 商大附 ベスト 8
個人 シングルス 新井勝也 ベスト16
高橋 諒 ベスト32
鈴木俊大 ベスト32
菅原淳生 ベスト32
樫野碧寿 ベスト64
高橋 心 ベスト64
大岡幸太郎 ベスト64
ダブルス 鈴木・樫野組 ベスト16
新井・菅原組 ベスト32
高橋・大岡組 ベスト32

群馬県高等学校新人テニス大会

団体 2回戦 5-0 清 桜
3回戦 1-3 太 東 ベスト16
個人 シングルス 菅原淳生 ベスト32
馬場 真 ベスト64
小金澤実祐 ベスト64

塚本瑛介 ベスト64
ダブルス 馬場・花見組 ベスト32
菅原・小金澤組 ベスト32

弓道部

県選手権

団体 予選20射6中 予選敗退
個人 財満晴人
予選8射6中 準決勝8射6中
決勝4射4中 計20射16中
射詰競射 優勝決定戦(3者) 3位入賞
武井秀弥
予選8射6中 準決勝8射5中
決勝4射3中 計20射14中 決勝敗退

関東個人県予選

個人 飯塚 響
予選4射2中 決勝4射残念 決勝敗退

県新人大会

団体 予選24射9中 予選敗退
東日本予選
団体 予選24射8中 予選敗退

第60回高校総体
(令和7年度) 男子総合5位

バレーボール部

3回戦 2-1 伊 商
準々決 2-0 桐 商
準 決 0-2 前 商 3位
(関東大会出場)

ソフトテニス部

団体 決勝リーグ

1-2 渋 川
1-2 高 商
0-3 農 二 4位
個人 ダブルス 大河原・齊藤ペア 準優勝

バドミントン部

団体 1回戦 1-2 大間々
個人 シングルス 鈴木 駿 ベスト64

サッカー部

1回戦 0-0 西邑楽
(PK 5-4)
2回戦 0-0 桐 商
(PK 4-3)
3回戦 0-3 育 英 ベスト16

バスケットボール部

1回戦 109- 33 高 経
2回戦 106- 38 高 工
3回戦 73- 56 勢 農
準々決 53- 95 育 英 ベスト 8

山岳部

男子 第6位
(関東大会出場)

空手道部

団体 1回戦 2-3 清 明

剣道部

団体 1回戦 0-1 渋 川

弓道部

団体 予選 1回戦 20射9中
2回戦 20射9中 合計18中
予選敗退

テニス部

団体 2回戦 3-0 高経附
3回戦 2-0 前 橋
4回戦 0-2 市太田 ベスト 8

卓球部

団体 1回戦 3-1 太 工
2回戦 0-3 吾中央
個人 ダブルス 松下・太田ペア ベスト 8

ラグビー部

準々決 43-14 樹 徳
準決勝 7-62 県 央
3位決 41-29 農 二 3位
(関東大会出場)

柔道部

《柔道競技》
団体 1回戦 0-5 桐 一
順位決 1-2 伊 工
《相撲競技》
団体 1-4 樹 徳
2-3 前 商 3位

陸上競技部

400mH 永井 司(55秒83) 3位
5000mW 永井 翼(24分00秒01) 3位
やり投 増田稜大(49m42) 3位
走幅跳 関 優弥(6m94) 5位
やり投 松本海里(46m56) 6位

第59回 総体成績

順位	学校名	得点	順位	得点
1	育 英	85.0	3	73.0
2	前 商	71.5	1	77.5
3	前 橋	65.0	4	69.0
4	樹 徳	61.0	6	58.0
5	高 崎	59.5	2	75.0

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研 屋

専務取締役 清水 正郎 (硬式野球部・75期)

本社／高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

SAN-ESU

nanoclea
PREMIUM DEO



サンエス工業株式会社

代表取締役 清水 威 (硬式野球部・85期)

本 社 高崎市内室田町1159-2 TEL.027-340-1581
高崎工場 高崎市町屋町710 FAX.027-340-1591



整形外科

ぐんまの森クリニック
Gunma no Mori Clinic

院長 濱 野 哲 敬 (硬式野球部 102期)

TEL 027-324-6100
〒370-0024 群馬県高崎市八幡原町453-1

翠巒体育会役員名簿

(2025. 6. 24)

役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名
会長	大田部 功	85	ラグビー	理事	萩原 克明	93	剣道	理事	高山 雄介	100	サッカー
副会長	山岸 祐二	79	水泳	//	鳥居 吉二	73	柔道	//	小林 均	77	硬式野球
//	清水 威	85	硬式野球	//	志田 登	82	//	//	堀込 貴	84	//
//	橋爪 洋介	85	卓球	//	広田金次郎	95	//	//	赤澤 正喜	84	//
//	滝野 修司	86	剣道	//	茂原 賢三	89	陸上競技	//	清水 元	91	//
//	甲斐 俊輔	87	陸上競技	//	石橋 修	90	//	//	北嶋 聡二	87	バスケットボール
//	根岸 強	87	サッカー	//	中山 拓紀	102	//	//	鈴木 徹也	88	//
//	市川 英久	91	柔道	//	長壁 拓郎	111	//	//	富澤 慎一	99	//
//	塚本 浩史	99	バスケットボール	//	相澤 悦郎	88	ラグビー	//	児島健太郎	100	//
//	小林 優介	103	ソフトテニス	//	綿貫 雄高	88	//	//	松本 基志	77	山岳
//	吉井 章一	102	山岳	//	高橋 哲人	89	//	//	齋藤 英敏	83	テニス
//(会計)	武山 雄海	78	バレーボール	//	永尾 俊弘	70	水泳	//	長谷川泰三	83	//
//(編集委員)	北村 真行	85	テニス	//	斉藤 全賢	75	//	//	松本 潔志	85	//
//(事務局)	櫻井 健一	87	応援	//	伊藤 祐司	75	//	//	佐藤 雄一	86	スキー・スケート
//	井野 周平	91	ラグビー	//	須藤 聡	78	//	//	佐藤 光昭	88	//
//	横田 裕正	92	スキー・スケート	//	堤 康高	71	卓球	//	沼野 藤雅	89	//
事務局	坂本 弘	87	バレーボール	//	羽鳥 広平	104	//	//(編集委員)	須川 光一	79	山岳
//	小澤 朋克	99	バスケットボール	//	宮原丈太郎	111	//	//	芳賀 弘幸	81	ラグビー
監査	波多野重雄	77	陸上競技	//	石田 和久	75	ソフトテニス	//	伊藤俊一郎	92	柔道
//	仲澤 賢一	86	バスケットボール	//	深堀 将平	111	//	//	足立 晋	96	陸上競技
顧問	國峯善次郎	50	サッカー	//	新嶋 拓哉	111	//	//	清水 健一	104	ソフトテニス
//	岩田 武雄	53	バスケットボール	//	富田 和弘	85	応援	//	高橋 秀仁	107	卓球
//	高橋 浩生	78	バレーボール	//	佐藤 英樹	92	//	編集委員	提箸 宏	74	サッカー
理事(会計)	根岸 彰	103	応援	//	武藤 靖秀	106	//	//	新藤 洋一	81	水泳
//	高橋 孝史	97	バレーボール	//	高橋 良太	118	//	//	藤井 正弘	81	応援
理事	柴山 俊広	103	//	//	遠山 昇	79	サッカー	//	寺澤 佑介	95	スキー・スケート
//	秋山 恭兵	111	//	//	安藤 英彦	86	//	//	鈴木 崇之	97	剣道
//	塚越 英男	91	剣道	//	佐藤 雄一	97	//	//	西村 昌吾	102	バスケットボール
								//	金田 優弥	106	硬式野球
								//	高橋 亮	108	バレーボール

学校側顧問			
校務	長頭	佐鳥 秋彦	
事務	長	田中 利明・古海 伸陽	
運動部	長	須藤 裕明	
事務局	局長	稲垣 圭吾	
	局長	小澤 朋克	
硬式野球	飯野 道彦・井田 郁浩・小林 量・高橋 直樹		
ラグビー	皿山 倫義・齊藤 幸男・青木 紀仁		
サッカー	笠原 宗太・徳光 尚之・岡田 直之		
陸上競技	稲垣 圭吾・前原 和紀・廣井 達人		
水泳	青木 紀仁・鈴木 幸英		
山岳	長谷川太一・國富 充敏・中山 晋平		
応援	伏島 悠平・齊藤 幸男・小澤 朋克		
ソフトテニス	萩野谷悠吏・菊地 将史		
テニス	高橋 建次・中川 浩之		
スキー・スケート	前原 和紀		
バスケットボール	小澤 朋克・川田 亮一		
バレーボール	砂川 智哉・木暮 良樹		
卓球	横田 謙人・長谷川忠史		
剣道	木村 拓哉・高橋 瑛人		
柔道	小林 裕貴・松井 卓也		
弓道	金谷 学・六本木 恵		
空手道	岡田 一輝・木暮 良樹		
軟式野球	田島 悦男・今井 健太・高橋 直樹・小林 量		
バドミントン	箕輪 学・飯塚 勇一		



OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
ソフトテニス部OB会	田口 恵一	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
山岳部OB会	松本 基志	77
水泳部OB会	島崎 秀明	77
剣道部OB会	小池 政一	77
ラグビー部OB会	今村 孝之	80
バレーボール部OB会	真下 公利	81
テニス部OB会	斎藤 英敏	83
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85
スキー・スケート部OB会	佐藤 雄一	86
サッカー部OB会	安藤 英彦	86
陸上競技部OB会	甲斐 俊輔	87
バスケットボール部OB会	塚本 浩史	99

◎ [須川・山岳部・79期]
◎ 会報第44号を無事に発行することができ、とても嬉しく思
編集 います。原稿をご寄稿くださった皆様、日頃より陰ながら支え
集 てくださいました皆さまに心より感謝申し上げます。
後 世代や種目の異なる仲間たちが一つの誌面に集い、それ
記 ぞれの想いや熱量を形にできたことは、大きな喜びです。ま
◎ た、寄稿を通じて各OB会が抱える喜びや悩みも様々であるこ
◎ とを改めて知りました。それらの経験や思いを互いに共有し、

新たな気づきと連帯感が生まれるところが、本会ならではの
良さで、暖かさを感じております。
高崎高校の現役運動部員のひたむきな姿は、私たち卒業
生にとって何よりの励みです。誌面を通じてエールを送り、こ
れからもOB会として応援し続けていきたいと思ひます。
最後になりますが、翠巒体育会が今後さらに発展し、世代
を超えて多くの仲間が結びつく場となることを願っておりま
す。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。